

第6次山形村総合計画審議会

調査結果と課題の整理

令和3年11月10日

本書の構成

I. 総合的な村の状況と課題

1. 将来人口推計・人口動態の分析
2. 村の総合評価と幸福度スコア
3. 施策の満足度・重要度分析

II. 施策分野別

1. 保健・医療・福祉分野
2. 子育て・教育分野
3. 生涯学習・文化芸術・スポーツ分野
4. 農林業分野
5. 観光・商工業・雇用分野
6. 自然環境分野
7. 生活環境・インフラ分野
8. 人権・自治・協働分野

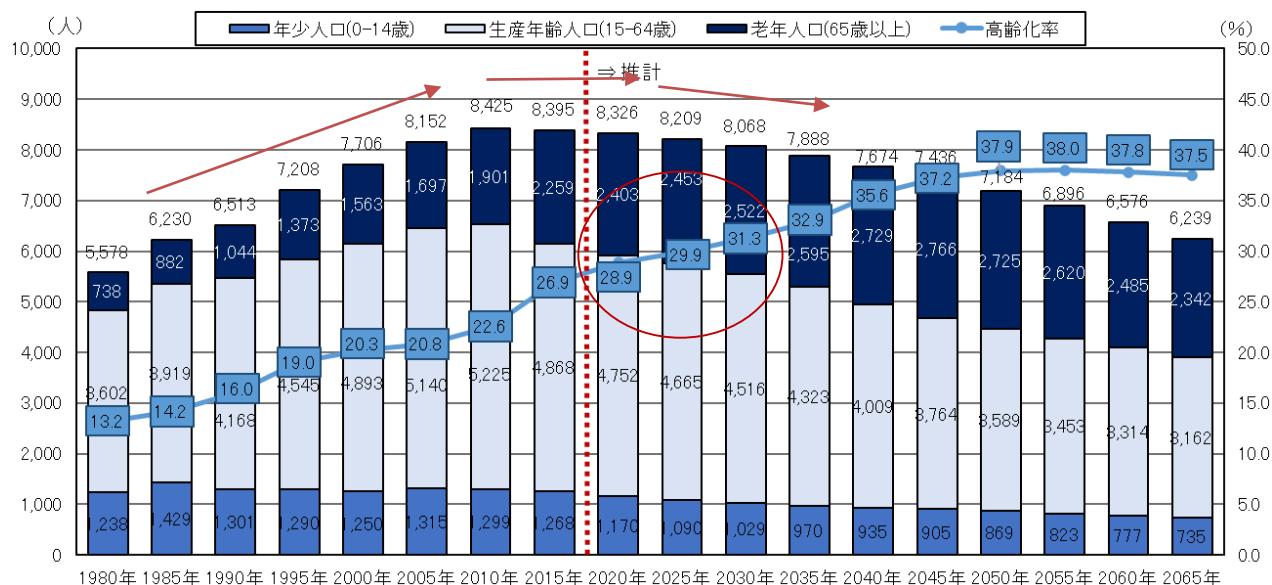
I . 総合的な村の状況と課題

村民アンケートの調査概要

- 調査方法: 郵送調査、WEBアンケートの併用
- 調査期間: 2021/9/16～10/18
- 調査対象者: 住民基本台帳からの無作為抽出した18歳以上の村民
- 調査対象数: 2,500名
- 有効回収数(有効回答率): 1,362件(54.5%) ※うち346件がWeb回答

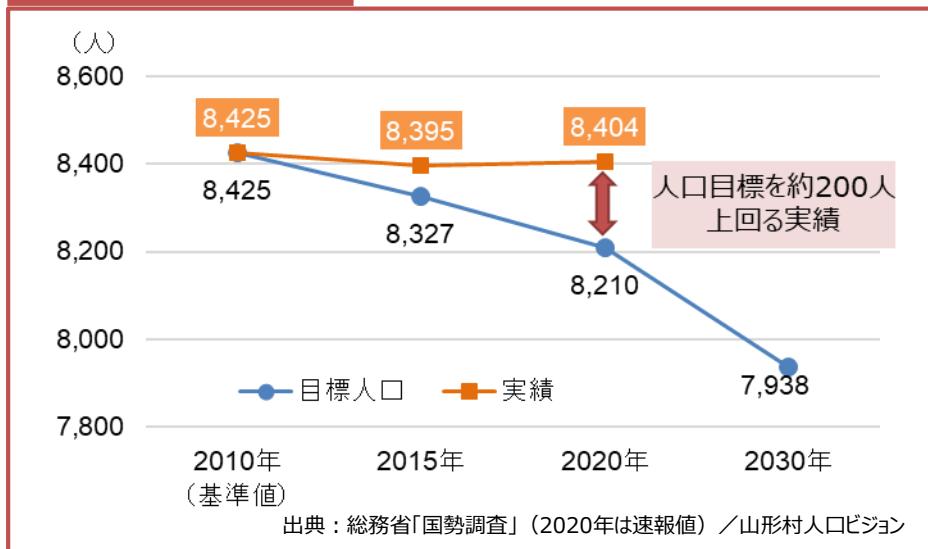
1. 将来人口推計・人口動態の分析【人口減対策】

■ 年齢3区分別人口の推移と推計

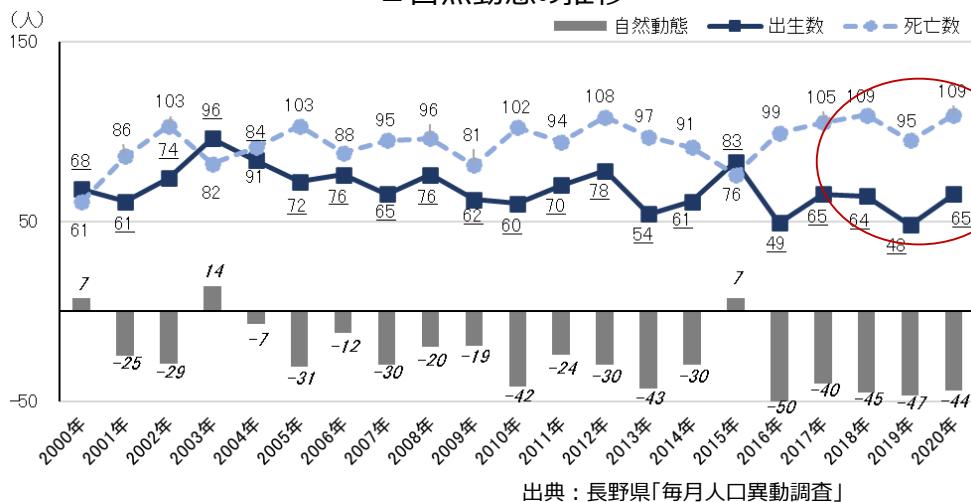


出典：(実績) 総務省「国勢調査」/ (推計) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

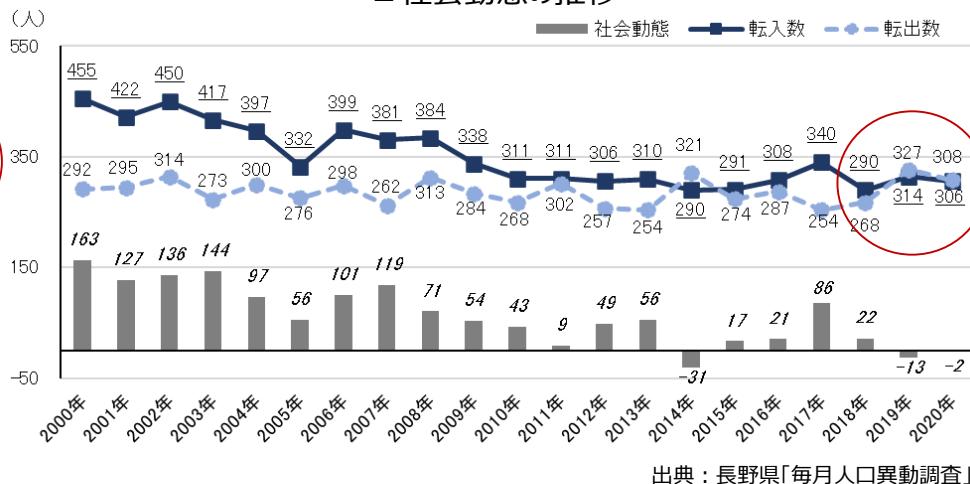
目標人口と実績の推移



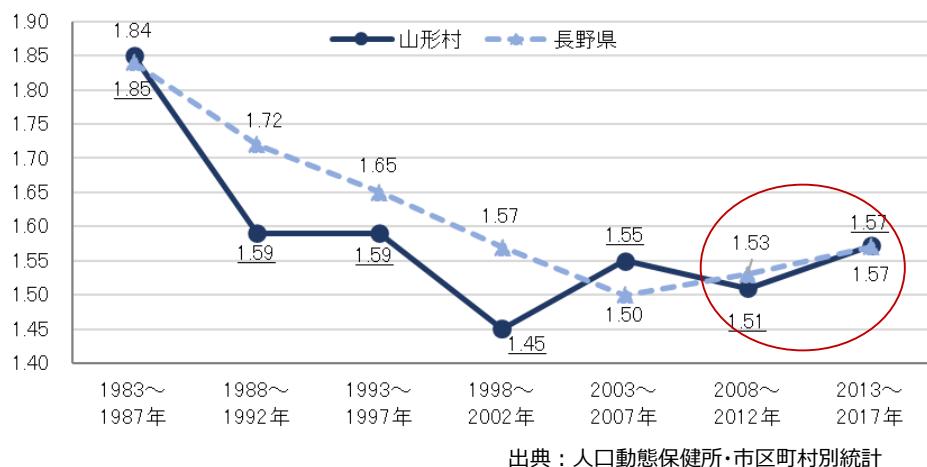
■ 自然動態の推移



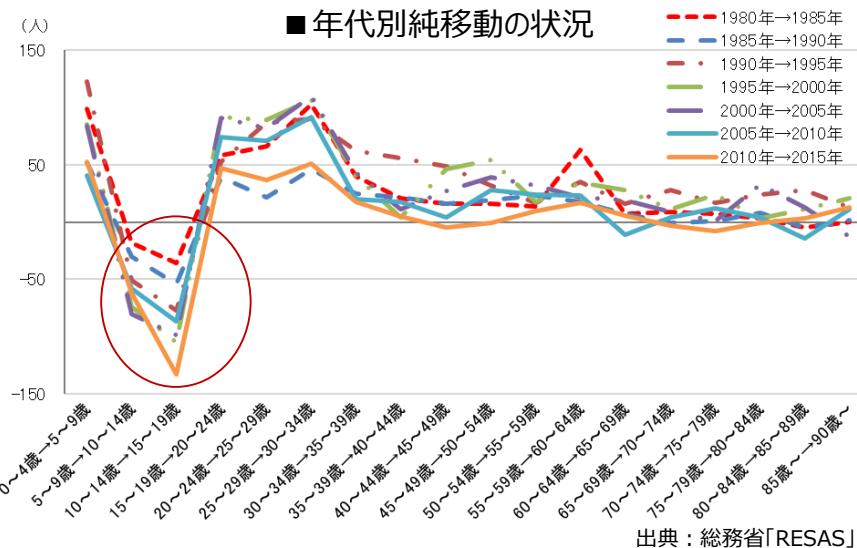
■ 社会動態の推移



■ 合計特殊出生率



■ 年代別純移動の状況



現状分析

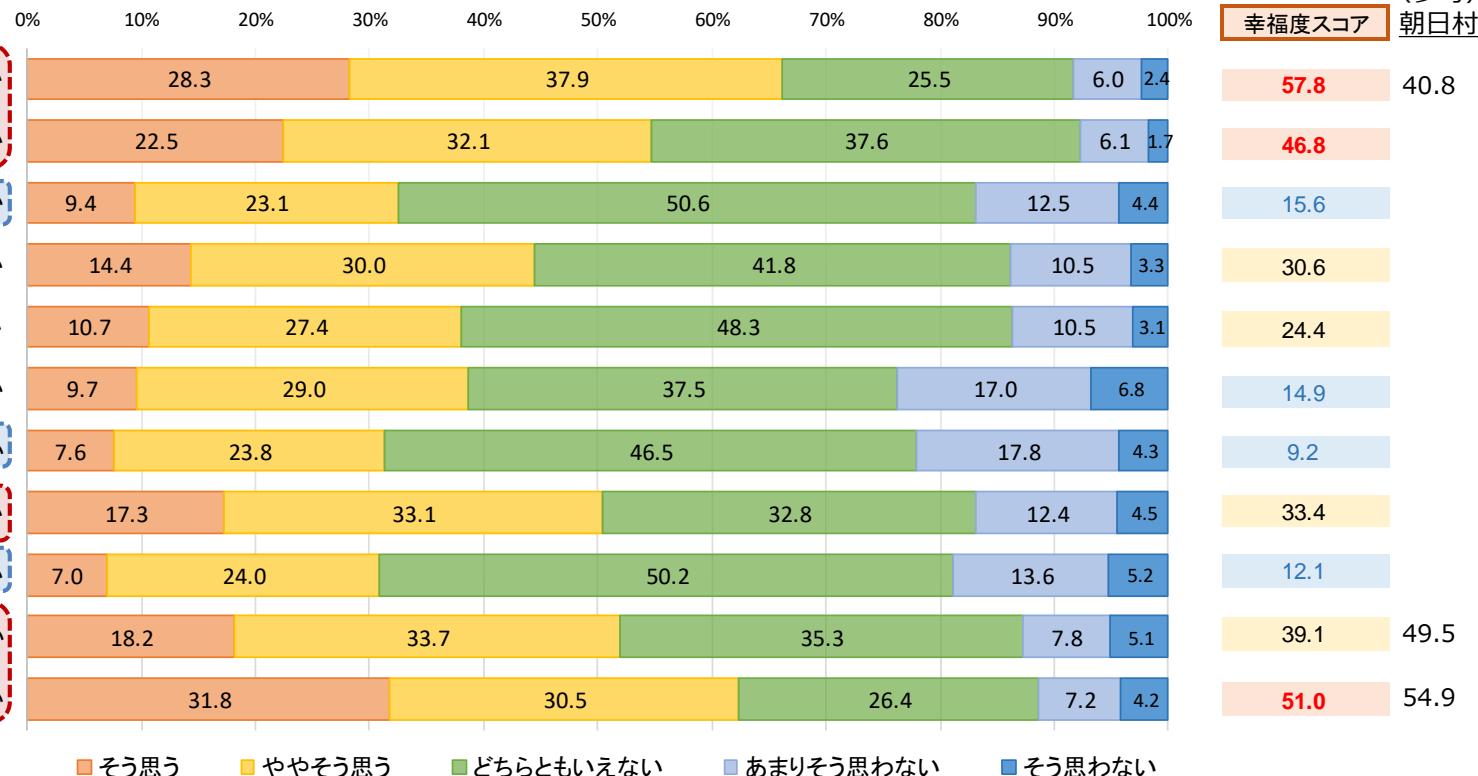
- ◆ 人口は増加⇒維持⇒緩やかな減少のフェーズへ。
- ◆ 高齢化率が3割に近づいている。
- ◆ 自然減(死亡数>出生数)が続いている。
- ◆ 社会増はほぼ均衡(転入数=転出数)。年々若者の転出数が増えている。
- ◆ 合計特殊出生率は改善の兆しがみられる。

今後の見通しと論点

- 2020年までは目標を上回るペースで推移してきているが、自然動態による減少には歯止めがかからず、社会動態も転入超過ではなくなってきているため、今後どう人口を維持するかが課題。
- 少子高齢、人生100年時代・多死社会を迎えるベッドタウン山形村の人口確保策として、どのような有効な打ち手があるか。
- 若者の流出防止やUターン促進のための若者にとっての住みやすい、魅力のある村とは。

2. 村の総合評価と幸福度スコア (村民アンケートより)

村のイメージ評価



【幸福度スコア】

上記の総合的な11の評価項目を用いて、今後、長期にわたって成果指標として計測することを想定し、以下の方法で指数化を図り、村の幸福度スコアとした。無回答を除き、「そう思う」「ややそう思う」の合計の構成比から「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計の構成比を引いて指標化。

【層別分析】 住みやすさ／誇り・愛着／今後も住み続けたいか

		住みやすい村か				自分の村としての誇りや愛着を感じているか				今後も山形村に住み続けたいか			
		そう思う・計	どちらともいえない	そう思わない・計	幸福度スコア	そう思う・計	どちらともいえない	そう思わない・計	幸福度スコア	そう思う・計	どちらともいえない	そう思わない・計	幸福度スコア
年代	10代・20代	78.6%	18.4%	3.1%	75.5	63.3%	28.6%	8.2%	55.1	66.3%	26.5%	7.1%	59.2
	30代	67.6%	22.5%	9.9%	57.7	47.2%	35.9%	16.9%	30.3	62.0%	27.5%	10.6%	51.4
	40代	71.6%	21.0%	7.4%	64.2	54.5%	31.5%	14.0%	40.5	63.0%	27.2%	9.7%	53.3
	50代	66.3%	22.4%	11.4%	54.9	47.8%	34.5%	17.6%	30.2	59.1%	24.0%	16.9%	42.1
	60代	64.3%	27.9%	7.9%	56.4	53.3%	37.0%	9.8%	43.5	63.3%	25.9%	10.8%	52.5
	70歳以上	58.7%	33.1%	8.2%	50.5	50.5%	39.2%	10.3%	40.2	62.1%	27.7%	10.3%	51.8
居住地	上大池	71.8%	21.1%	7.0%	64.8	65.7%	22.9%	11.4%	54.3	70.2%	17.0%	12.8%	57.4
	中大池	63.1%	30.6%	6.3%	56.8	49.5%	39.4%	11.0%	38.5	57.7%	34.2%	8.1%	49.5
	小坂	64.6%	28.2%	7.1%	57.5	47.2%	42.0%	10.8%	36.4	57.9%	31.3%	10.9%	47.0
	下大池	69.1%	22.0%	8.9%	60.2	55.3%	33.3%	11.4%	43.9	69.1%	20.3%	10.6%	58.5
	上竹田	65.3%	24.6%	10.1%	55.2	53.6%	32.2%	14.2%	39.4	64.9%	23.1%	12.0%	52.8
	下竹田	65.8%	25.4%	8.8%	57.0	48.4%	36.6%	15.0%	33.3	59.6%	28.6%	11.8%	47.8
出身地	村内	73.2%	20.6%	6.2%	67.0	66.6%	25.4%	8.0%	58.6	69.5%	22.5%	7.9%	61.6
	村外	62.5%	28.0%	9.4%	53.1	44.2%	40.4%	15.3%	28.9	58.5%	28.4%	13.1%	45.4

現状分析

- ◆ 総合的なイメージとして、「住みやすい村」＝「子育てしやすい村」「快適に不便なく暮らせる村」であり、「自分の村として誇りや愛着を感じる」⇒「今後も住み続けたい」という評価構造がみられる。
- ◆ 一方、産業の活力、文化的環境、助け合い、誰もが安心して暮らせるという点ではマイナス評価が一定数みられる。
- ◆ 18～29歳の若い世代のイメージ評価はとて高く、愛着や今後の居留意向も強い。
- ◆ 地域別には上大池、下大池の評価が高い傾向がある。

今後の見通しと論点

- 強みである子育て、快適な生活を主軸とした「住みやすさ」を今後10年間の未来を展望するなかで、どのようにアップデートし、さらなる強みに磨き上げるか。
- 若い世代のヴィレッジ・プライドはきわめて高い。村を出なくても、若者の仕事や豊かな生活が成り立つ、“若者が生き生き活躍できる村”の未来モデルを考える。
- どの地域においても村の良さを享受できるための地域格差の解消のための課題とは。

3. 施策の満足度・重要度分析 (村民アンケートより)

施策	満足度				重要度			
	割合(%)	得点	順位	評価できない・わからない(%)	割合(%)	得点	順位	評価できない・わからない(%)
1医療体制の充実	42.3	3.34	5	13.1	86.7	4.43	1	12.6
2健康づくりの推進	43.7	3.45	2	16.4	68.2	3.97	19	16.8
3高齢者への支援体制の充実	37.6	3.32	6	23.4	77.7	4.22	4	18.2
4障がい者(児)への支援体制の充実	25.5	3.14	15	35.0	73.8	4.16	9	25.8
5地域福祉体制の充実	24.5	3.10	21	32.5	72.3	4.10	11	24.5
6貧困対策の充実	18.7	3.03	30	39.8	68.7	4.01	16	28.9
7子育て支援体制の充実	41.7	3.40	4	32.1	77.8	4.25	2	24.7
8子育てしやすい地域づくりの推進	42.1	3.42	3	29.7	74.9	4.18	6	23.6
9学校教育の充実	33.3	3.26	9	35.7	76.3	4.21	5	25.9
10生涯学習環境の充実	30.4	3.22	12	26.1	54.8	3.69	33	23.1
11スポーツ環境の充実	32.4	3.25	10	25.4	48.3	3.56	38	23.8
12文化芸術環境の充実	19.8	3.04	26	32.5	41.9	3.47	40	28.3
13文化遺産の保存・活用	22.2	3.08	23	33.6	45.4	3.51	39	28.0
14人権尊重の村づくりの推進	22.4	3.10	20	33.9	66.8	4.00	17	26.1
15男女共同参画社会の推進	24.0	3.12	18	36.6	56.6	3.77	30	29.8
16多文化共生の推進	10.8	2.78	37	40.2	47.2	3.58	37	32.3
17農業の推進	36.0	3.23	11	30.8	72.5	4.09	12	24.6
18林業の推進	18.1	2.90	34	38.4	60.8	3.82	27	31.1
19観光の推進	19.1	2.79	36	28.3	59.7	3.76	31	23.8
20商工業の推進	23.5	3.04	27	33.8	60.5	3.81	29	29.3
21雇用対策の推進	11.7	2.71	38	37.4	63.1	3.89	20	30.9
22公園・緑地の充実	29.3	3.03	28	16.7	62.1	3.87	24	18.0
23自然環境や景観の保全	39.4	3.28	7	19.3	68.4	3.98	18	19.5
24循環型社会の推進	21.7	3.05	25	34.2	63.8	3.89	22	29.0
25道路整備の充実	27.8	2.88	35	13.7	76.5	4.14	10	15.5
26適切な土地利用の推進	18.4	2.90	33	34.8	61.2	3.85	25	30.7
27住宅対策の推進	13.6	2.71	39	31.8	60.9	3.82	28	27.2
28公共交通の整備	23.5	2.71	40	18.0	79.4	4.23	3	15.9
29公共施設の維持・管理	30.1	3.20	13	29.2	61.6	3.89	23	25.9
30消防・救急体制の充実	44.1	3.47	1	23.7	74.7	4.17	7	21.2
31防災体制の充実	32.4	3.26	8	25.5	70.0	4.05	13	23.3
32治山・治水対策の推進	22.9	3.06	24	36.0	69.4	4.03	15	28.3
33防犯体制の充実	24.2	3.11	19	29.7	69.5	4.04	14	24.2
34交通安全対策の推進	30.1	3.15	14	23.3	75.4	4.16	8	20.3
35協働の村づくりの推進	20.8	3.12	17	35.3	49.5	3.61	35	30.9
36移住者支援	17.6	2.94	31	36.6	53.7	3.67	34	30.5
37広報・広聴活動の充実	28.7	3.14	16	26.1	54.9	3.72	32	25.1
38消費者対策の推進	16.3	3.03	29	39.1	47.4	3.59	36	32.5
39効率的な行財政の運営	22.1	3.09	22	36.5	62.6	3.89	21	30.7
40行政におけるデジタル化の推進	19.8	2.91	32	35.5	60.5	3.84	26	29.7

注1：満足度は「満足～不満足」、重要度は「重要～重要でない」をそれぞれ1～5の5段階で回答してもらっている。満足度・重要度の割合はこのうち1と2を回答した人の数が無回答を除く全回答者数に占める割合となっている。

注2：得点は1～5段階評価を1=5点、2=4点、3=3点、4=2点、5=1点、と配点し、平均値を算出した。

注3：参考までに全対象者(N=1,362)に占める無回答者の割合を「評価できない・わからない」として掲載している。

現状分析

■満足度

【ベスト5】

- ①消防・救急体制の充実
- ②健康づくりの推進
- ③子育てしやすい地域づくりの推進
- ④子育て支援体制の充実
- ⑤医療体制の充実

【ワースト5】

- ①公共交通の整備
- ②住宅対策の推進
- ③雇用対策の推進
- ④多文化共生の推進
- ⑤観光の推進

【評価できない・わからない 上位】

- ①多文化共生の推進
- ②貧困対策の充実
- ③消費者対策の推進
- ④林業の推進
- ⑤雇用対策の推進

■重要度

【ベスト5】

- ①医療体制の充実
- ②子育て支援体制の充実
- ③公共交通の整備
- ④高齢者への支援体制の充実
- ⑤学校教育の充実

【ワースト5】

- ①文化芸術環境の充実
- ②文化遺産の保護・活用
- ③スポーツ環境の充実
- ④多文化共生の推進
- ⑤消費者対策の推進

【評価できない・わからない 上位】

- ①消費者対策の推進
- ②多文化共生の推進
- ③林業の推進
- ④雇用対策の推進
- ⑤協働の村づくりの推進

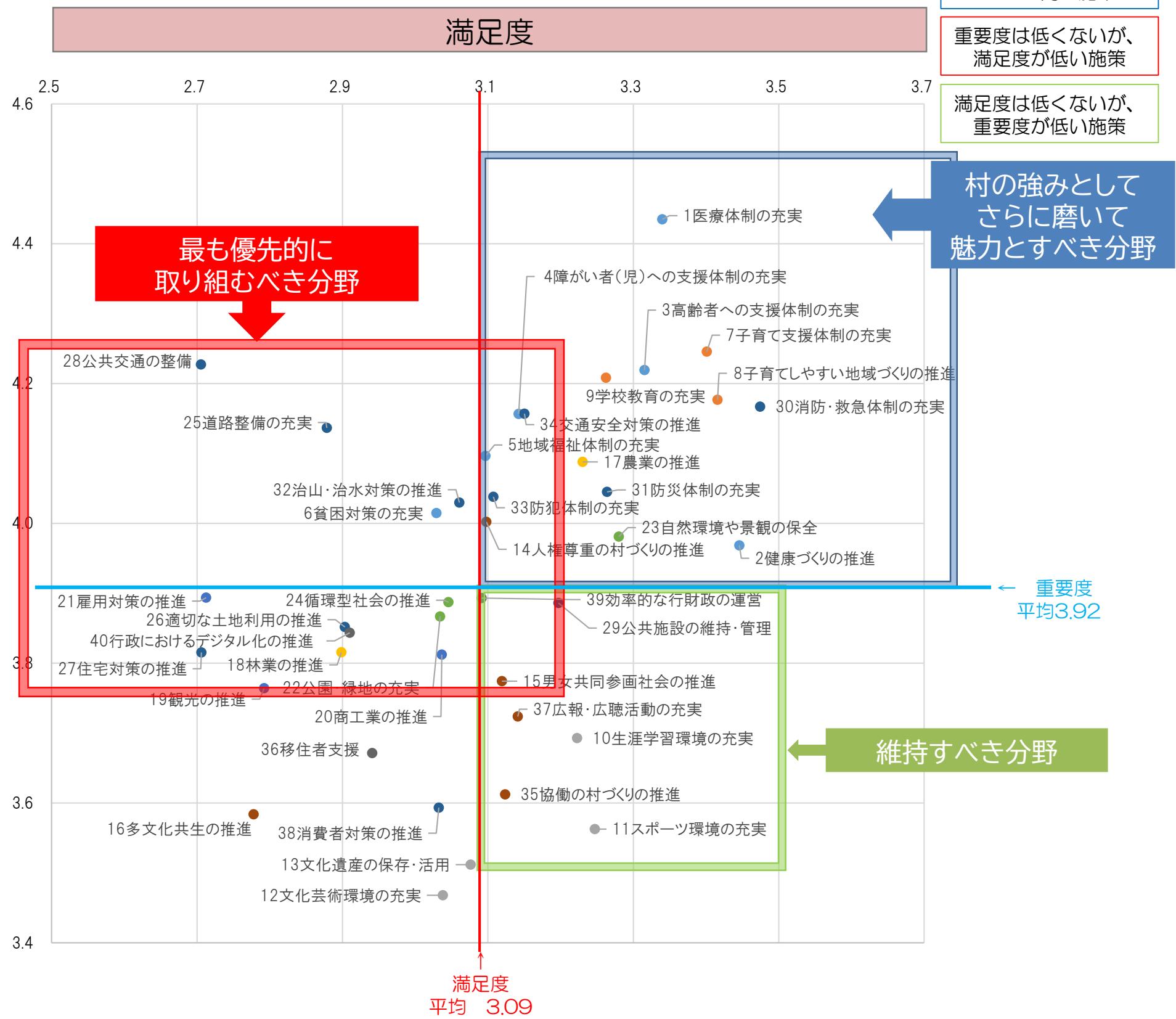
【年代別分析】（満足度・重要度得点と40施策中の順位）

施策	満足度						重要度																	
	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上												
1医療体制の充実	3.41	14	3.12	9	3.23	8	3.29	9	3.35	3	3.55	2	4.54	1	4.48	1	4.44	1	4.42	1	4.44	1	4.38	1
2健康づくりの推進	3.64	3	3.25	6	3.36	4	3.42	4	3.46	1	3.54	3	4.05	26	3.88	22	3.87	27	3.97	17	4.07	13	3.96	16
3高齢者への支援体制の充実	3.47	10	3.21	7	3.23	7	3.24	12	3.31	5	3.44	6	4.29	9	4.08	10	4.29	5	4.27	2	4.22	2	4.15	3
4障がい者(児)への支援体制の充実	3.26	24	2.92	26	3.13	15	3.06	26	3.14	12	3.31	10	4.26	11	4.11	8	4.20	9	4.23	4	4.15	6	4.03	9
5地域福祉体制の充実	3.31	20	2.97	23	3.03	19	3.10	23	2.99	26	3.23	17	4.22	12	4.04	12	4.15	10	4.16	7	4.12	10	3.94	19
6貧困対策の充実	3.10	36	2.90	31	3.01	23	3.06	27	2.95	29	3.14	23	4.29	8	3.95	15	3.98	16	4.04	16	3.97	19	3.99	15
7子育て支援体制の充実	3.60	5	3.31	4	3.37	3	3.45	3	3.30	6	3.48	4	4.45	3	4.40	2	4.35	3	4.22	6	4.15	5	4.05	7
8子育てしやすい地域づくりの推進	3.63	4	3.33	2	3.40	1	3.45	2	3.32	4	3.46	5	4.37	6	4.33	4	4.21	8	4.12	9	4.16	4	4.05	8
9学校教育の充実	3.55	7	3.02	15	3.19	10	3.32	8	3.18	8	3.40	7	4.40	4	4.36	3	4.35	4	4.12	10	4.15	7	4.02	11
10生涯学習環境の充実	3.43	12	3.12	10	3.17	11	3.25	11	3.16	9	3.29	11	3.91	29	3.69	30	3.71	34	3.61	36	3.73	29	3.63	33
11スポーツ環境の充実	3.26	25	3.02	16	3.13	14	3.38	5	3.19	7	3.40	8	3.81	34	3.46	36	3.61	36	3.52	39	3.56	38	3.53	38
12文化芸術環境の充実	3.16	32	2.74	35	2.93	28	3.18	14	3.02	21	3.13	24	3.64	40	3.26	39	3.45	40	3.54	38	3.48	40	3.45	40
13文化遺産の保存・活用	3.21	30	3.03	13	2.95	27	3.13	20	3.09	14	3.10	28	3.71	38	3.20	40	3.47	39	3.51	40	3.56	37	3.60	37
14人権尊重の村づくりの推進	3.26	23	2.91	29	2.99	24	3.15	19	3.06	17	3.21	18	4.21	13	4.08	9	3.95	20	3.97	18	4.01	17	3.94	18
15男女共同参画社会の推進	3.40	15	3.01	18	3.11	17	3.16	17	2.99	25	3.14	22	4.09	19	3.68	32	3.76	32	3.71	31	3.82	23	3.73	26
16多文化共生の推進	3.11	35	2.63	38	2.71	36	2.81	38	2.71	38	2.83	37	3.84	33	3.56	34	3.59	37	3.60	37	3.55	39	3.50	39
17農業の推進	3.64	2	3.33	3	3.14	13	3.34	6	3.14	11	3.12	26	4.30	7	4.03	13	4.12	12	4.05	15	4.11	11	4.02	12
18林業の推進	3.42	13	2.92	28	2.92	30	2.90	34	2.78	36	2.76	39	4.05	25	3.84	24	3.83	29	3.81	29	3.82	25	3.70	30
19観光の推進	3.12	34	2.68	37	2.66	37	2.83	36	2.73	37	2.89	35	4.08	21	3.76	25	3.95	22	3.73	30	3.66	34	3.60	36
20商工業の推進	3.44	11	3.02	14	2.95	26	3.06	28	2.92	31	3.07	30	4.05	24	3.76	26	3.90	24	3.87	25	3.72	30	3.69	31
21雇用対策の推進	3.10	37	2.53	39	2.55	39	2.82	37	2.64	40	2.80	38	4.18	15	3.92	19	3.99	15	3.94	22	3.79	26	3.71	29
22公園・緑地の充実	3.48	9	2.98	22	2.87	32	3.07	25	2.96	28	3.10	29	4.14	16	4.05	11	3.95	21	3.82	28	3.78	28	3.73	27
23自然環境や景観の保全	3.75	1	3.47	1	3.24	6	3.28	10	3.05	18	3.29	12	4.08	22	3.94	18	4.00	14	3.96	20	4.00	18	3.95	17
24循環型社会の推進	3.38	16	2.97	24	2.96	25	2.99	30	2.94	30	3.20	19	3.86	32	3.76	27	3.88	26	3.96	21	3.89	21	3.91	22
25道路整備の充実	3.06	39	2.80	33	2.80	34	2.84	35	2.81	33	3.04	31	4.28	10	4.19	7	4.23	6	4.06	14	4.10	12	4.09	5
26適切な土地利用の推進	3.22	29	2.91	30	2.87	33	2.96	31	2.78	35	2.87	36	3.92	28	3.69	31	3.82	31	3.85	26	3.88	22	3.92	20
27住宅対策の推進	3.07	38	2.68	36	2.62	38	2.79	39	2.65	39	2.64	40	3.88	30	3.73	29	3.85	28	3.84	27	3.78	27	3.82	24
28公共交通の整備	2.64	40	2.43	40	2.28	40	2.61	40	2.81	34	3.27	14	4.47	2	4.28	5	4.41	2	4.24	3	4.16	3	4.00	14
29公共施設の維持・管理	3.28	22	3.01	20	3.19	9	3.17	15	3.08	15	3.39	9	4.13	18	3.87	23	3.94	23	3.89	24	3.82	24	3.81	25
30消防・救急体制の充実	3.58	6	3.29	5	3.39	2	3.50	1	3.42	2	3.64	1	4.38	5	3.95	17	4.15	11	4.23	5	4.14	8	4.19	2
31防災体制の充実	3.38	17	3.20	8	3.31	5	3.33	7	3.14	10	3.27	13	4.19	14	4.00	14	3.97	18	4.11	11	4.05	15	4.02	10
32治山・治水対策の推進	3.33	19	3.00	21	3.03	20	3.11	22	3.02	22	3.01	32	4.05	26	3.89	21	3.98	17	4.09	12	4.04	16	4.07	6
33防犯体制の充実	3.26	26	2.92	27	3.14	12	3.07	24	3.07	16	3.18	21	4.13	17	3.91	20	4.04	13	4.07	13	4.06	14	4.01	13
34交通安全対策の推進	3.49	8	3.02	17	3.11	18	3.17	16	3.02	20	3.24	16	4.07	23	4.22	6	4.21	7	4.15	8	4.13	9	4.13	4
35協働の村づくりの推進	3.37	18	3.04	12	3.13	16	3.16	18	3.03	19	3.13	25	3.76	37	3.36	38	3.49	38	3.64	33	3.66	33	3.72	28
36移住者支援	3.24	28	2.85	32	2.75	35	2.96	32	3.00	24	2.99	33	3.80	36	3.58	33	3.72	33	3.65	32	3.64	35	3.67	32
37広報・広聴活動の充実	3.24	27	3.06	11	3.01	22	3.21	13	3.10	13	3.25	15	3.81	35	3.50	35	3.83	30	3.64	34	3.71	32	3.82	23
38消費者対策の推進	3.21	31	2.95	25	2.93	29	3.05	29	3.01	23	3.10	27	3.68	39	3.43	37	3.61	35	3.62	35	3.57	36	3.62	35
39効率的な行財政の運営	3.30	21	3.01	19	3.02	21	3.12	21	2.99	27	3.19	20	3.87	31	3.73	28	3.88	25	3.96	19	3.91	20	3.91	21
40行政におけるデジタル化の推進	3.13	33	2.78	34	2.87	31	2.95	33	2.82	32	2.97	34	4.08	20	3.95	16	3.96	19	3.91	23	3.71	31	3.63	34

現状分析

- ◆ 医療体制や公共交通の充実を望む声はどの世代でも共通している。
- ◆ 若い世代は他の世代よりも、「自然環境や景観」、「農業」といった村の特徴を評価している。
- ◆ 若い世代が重視してほしい施策は、「子育て・教育」が他の世代より高くなっている。
- ◆ 50代以上では「高齢者への支援体制の充実」を重視する人が多い。

- 保健・医療・福祉分野
- 子育て・教育分野
- 生涯学習・文化芸術・スポーツ分野
- 農林業分野
- 観光・商工業・雇用分野
- 自然環境分野
- 生活環境・インフラ分野
- 人権・自治・協働分野
- その他



今後の見通しと論点

- **重要度は高いが満足度が低い分野の改善に優先的に取り組む**
 - ・公共交通や道路整備のさらなる整備
 - ・治山治水、循環型社会、土地利用の推進など未来変化やSDGsを踏まえた環境対策
 - ・貧困対策、防犯体制、地域福祉体制障がい者支援、人権尊重など地域の見守り、つながり、地域共生力の強化
 - ・雇用対策と商工業・農業の推進など地域で稼げる力の向上
 - ・デジタル化に対応した効率的な行政運営

- **現在の強みをさらに磨き、発信する**

【強みとなる魅力】

 - ・子育て支援が手厚く、学校教育も充実した子育てしやすい村
 - ・健康づくりの取組が充実し、いつになっても健やかに暮らせるシニアに住みやすい村
 - ・医療や消防・救急体制が充実したいざという時安心な村
 - ・豊かな自然を生かした農業が盛んな村

Ⅱ. 施策分野別の現状と課題



アンケート結果や課題から、分野ごとにどのような取組が特に必要になるか、10年後を見据えて考えてみましょう



10年後のよりよい村づくりに向けて、今からやるべきことはなんだろう？

※各分野について以下のデータと課題をまとめています

- 村民アンケート(施策評価／自由記述)
- 関連する統計データ
- 担当課の展望(課題・展望／今後予定している事業等)
- 村長公約

【資料の見方】 次ページから村の施策を大きく8つの分野に分けて、村民の意見や村の考え方、各種データなどをまとめています。その見方について説明します。この資料を参考に、ワークショップを進めます。

村民アンケート結果と担当課の考え

個別分野	村民アンケートによる分野ごとの評価					村長公約	担当課による展望	
	施策	満足度	重要度	村の良いところ	村の悪いところ・要望		地域資源・施策アイデア	課題
保健	健康づくりの推進	43.7% (2位)	68.2% (19位)	○ 検診が充実している ○ コロナワクチンの対応が早い ○ 健康づくりに力を入れている	▲ 検診の働きかけがあまりない			・健康づくり、健康管理意識が低い ・村でも高齢化が一層進んでいく。
医療	医療			○ 医療機関が近場で充実 ○ 医療費が18	▲ 小児科がない ▲ 耳鼻科、眼科、皮膚科がない			・地域医療を維持し
高齢者福祉	高齢者福祉			○ 福祉サービス ○ 福祉バスの運	▲ 利用者が少ない ▲ まだ不十分			・認知症
障がい者福祉	障がい者福祉				▲ 設備の障がい者対応が不十分			・松本圏域（3市5村）は県内で最もエリアが広く、課題の地域差が大きい。また、エリア内には資源が豊富だが大きな課題
地域福祉	地域福祉体制の充実	24.5% (21位)	72.3% (11位)	○ 挨拶ができる関係がある ○ 区や自治会の活動が活発	▲ 一人暮らしの高齢者への声かけが少ない ▲ 理解が足りない村民がいる			・R4より現在の圏域でのメリットを残しつつ、松本圏域を分割し、より地域課題が大きい小回りの利く体
	貧困対策の充実	18.7% (30位)	68.7% (16位)					

村民アンケートの問16 施策別評価(満足度と重要度)の割合と順位を示しています。40施策中、上位10施策=赤字 下位10施策=青字

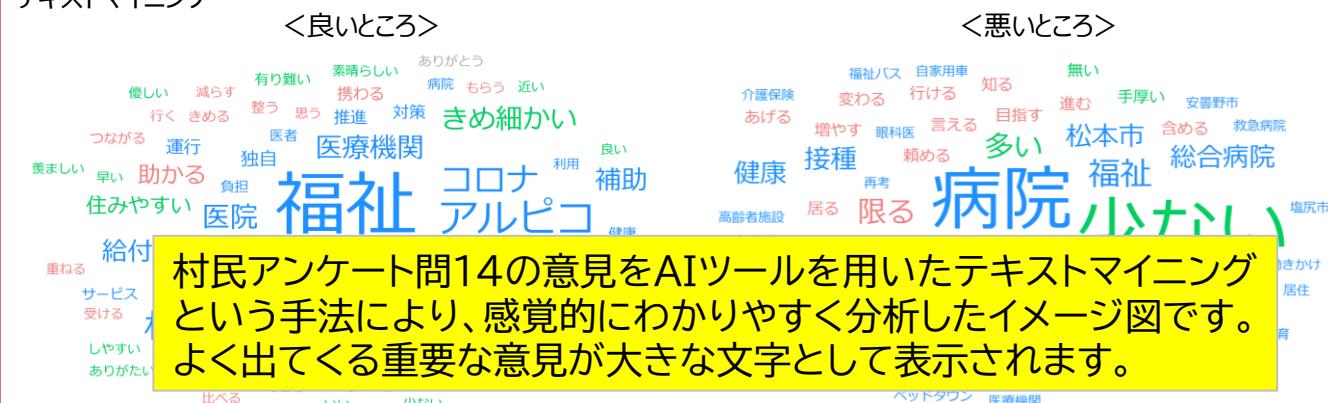
村民アンケート問14の「村の良いところ」「村の悪いところ」から主な意見を抜粋しています。

村民アンケート問17の「村の魅力・資源とその活用方法」から主な意見を抜粋しています。

各施策の担当課が感じている課題、今後の展望・予定している事業についてまとめています。

この分野で村長が公約として記載している取組を記載しています

テキストマイニング



村民アンケート問14の意見をAIツールを用いたテキストマイニングという手法により、感覚的にわかりやすく分析したイメージ図です。よく出てくる重要な意見が大きな文字として表示されます。

注1：テキストマイニング…ユーザーローカル「AIテキストマイニングツール」を用いて、自由意見を可視化したもの。スコアが高い単語（単なる出現回数の多さではなく、文章の中でどれだけ特徴的かを点数化したもの）を選び出し、その値を大きさを図示している。青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表す。（以下同様）



たとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

- 【保健医療分野】
 - ◆健康づくりや医療福祉サービスへの満足度は高く、介護保険給付も抑えられ
- 【福祉】
 - ◆地域福祉や支え合いが必要な人は増えていく

人生100年時代、どうすれば一人ひとりの検診の受診や健康づくりの意識を高めることができるのか？

この分野の論点(議論すべきポイント)の例を記載しています。

みなさんで、今後の重要な取組みを考える際のヒントとしてください。

なるために、どんな地域の取組や体制が必要か？

【今後10年で注力すべき方向性】

◆ さらに磨くべきこと（強み）	◆ 改善すべきこと（弱み）

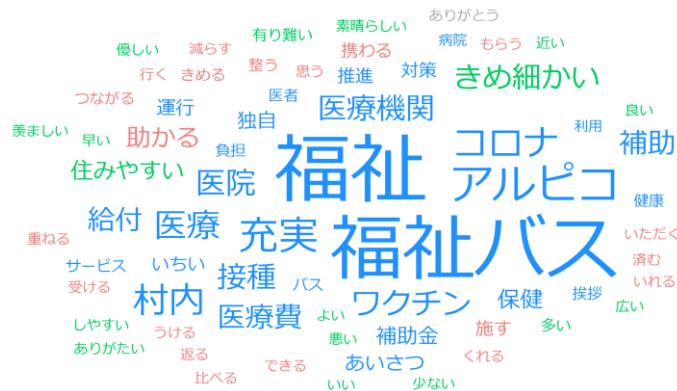
課題と論点の例をヒントに、これからの10年、この分野で「さらに磨くべきこと」「改善すべきこと」を記入してください。

1. 保健・医療・福祉分野

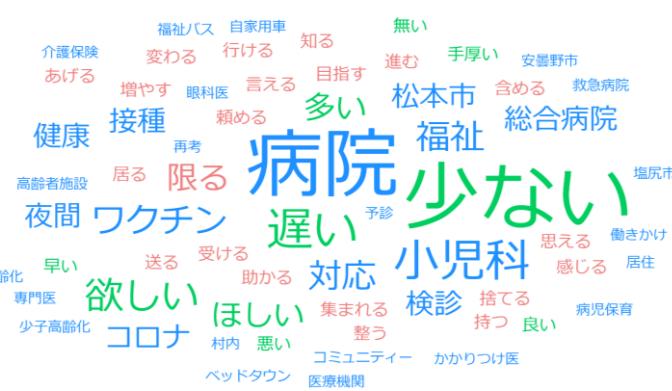
個別分野	村民アンケートによる分野ごとの評価						村長公約	担当課による展望	
	施策	満足度	重要度	村の良いところ	村の悪いところ・要望	地域資源・施策アイデア		課題	将来展望／予定事業
保健	健康づくりの推進	43.7% (2位)	68.2% (19位)	○ 検診が充実している ○ コロナワクチンの対応が早い ○ 健康づくりに力を入れている	▲ 検診の働きかけがあまりない	<ul style="list-style-type: none"> スカイランド清水をコロナ療養施設として活用 福祉バスは朝日村住民にうらやましがられるサービス⇒福祉の手厚さを他地域にアピールできる 	社会的弱者・障害者の自立支援 地域コミュニティの再生	・健康づくり、健康管理意識が低く、検診の受診につながらない	・村でも高齢化が一層進んでいく。健康管理意識の高揚を図る事業を充実させ、受診につなげていく
医療	医療体制の充実	42.3% (5位)	86.7% (1位)	○ 医療機関が近場で充実 ○ 医療費が18歳まで補助がある	▲ 小児科がない ▲ 耳鼻科、眼科、皮膚科がない ▲ 総合病院がほしい			・地域医療体制は、現在の体制を維持していくことが課題	・医師会や広域の連携をし、健康で安心して生活する環境・体制を維持する
高齢者福祉	高齢者への支援体制の充実	37.6% (6位)	77.7% (4位)	○ 福祉サービスが充実している ○ 福祉バスの運行と運賃補助が助かっている	▲ 高齢者が集まる場が少ない ▲ 福祉バスはあるがまだ不十分			・認知症及び骨・筋疾患の増加	・介護予防事業の拡充 ・認知症になっても自分の望む暮らしができるような地域づくりを行う
障がい者福祉	障がい者(児)への支援体制の充実	25.5% (15位)	73.8% (9位)		▲ 障がい者の人権が守られていない ▲ 設備の障がい者対応が不十分			・松本圏域(3市5村)は県内で最もエリアが広く、課題の地域差が大きい。また、エリア内にはない資源への対応が大きな課題	・R4より現在の圏域でのメリットを残しつつ、松本圏域を分割し、より地域課題が挙げやすい小回りの利く体制構築を検討中
地域福祉	地域福祉体制の充実	24.5% (21位)	72.3% (11位)	○ 挨拶ができる関係がある ○ 区や自治会の活動が活発	▲ 一人暮らしの高齢者への声かけが少ない ▲ 理解が足りない村民がいる			・障害、高齢、生活困窮などの複合的な問題を抱える住民のための相談支援体制の整備	
	貧困対策の充実	18.7% (30位)	68.7% (16位)						

テキストマイニング

<良いところ>



<悪いところ>



たとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

【保健医療分野】

◆健康づくりや医療福祉サービスへの満足度は高く、介護保険給付も抑えられているが、**個人の健康管理意識は低い**。高齢化がさらに進むと・・・？

人生100年時代、どうすれば一人ひとりの検診の受診や健康づくりの意識・行動につながるか？

【福祉分野】

◆**地域のつながりが薄れる**中、高齢化や経済格差の広がりなど、**地域での見守りや支え合いが必要な人は増えていく**

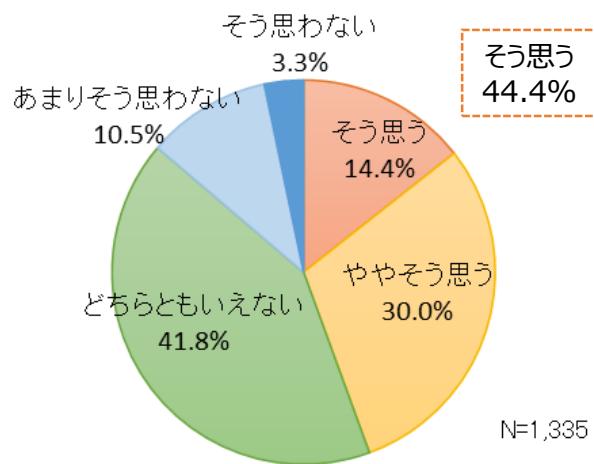
高齢者をはじめ、誰もが住みやすい地域共生社会になるために、どんな地域の取組や体制が必要か？

【今後10年で注力すべき方向性】

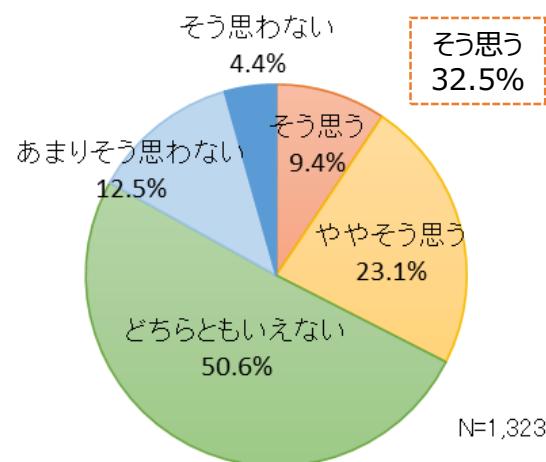
◆ さらに磨くべきこと（強み）	◆ 改善すべきこと（弱み）

■ アンケート結果の分析

総合評価
「保健・医療や福祉が充実している」



「誰もが安心して暮らせる村か」



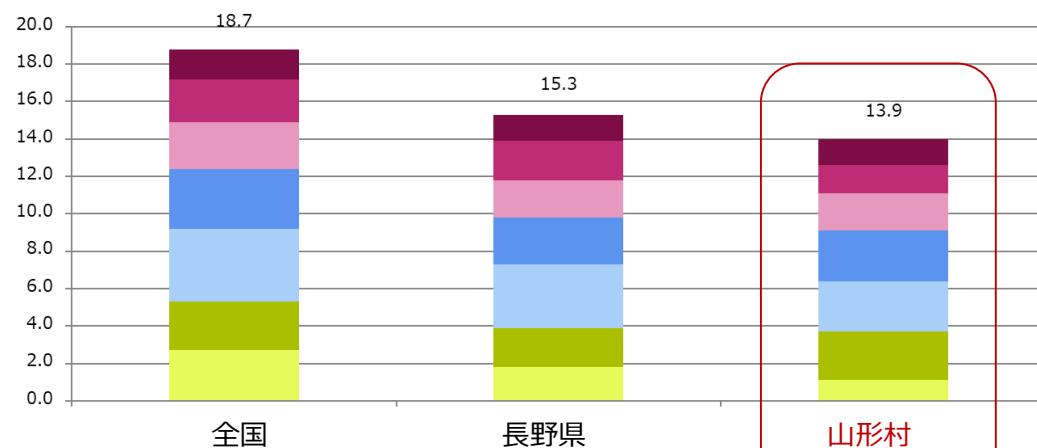
村民が意識的に取り組んでいること

	N	食生活の改善や運動などを行い、健康維持に気をつけている
全体	1,349	52.2%
10代・20代	97	42.3%
30代	141	34.8%
40代	254	40.9%
50代	255	48.2%
60代	279	59.5%
70歳以上	321	68.2%

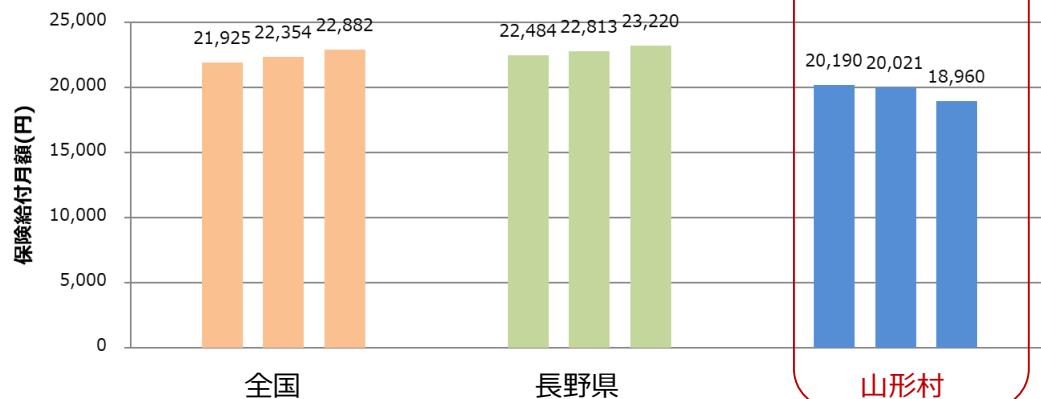
若年～中年層で健康維持管理意識が弱い

■ 関連する統計指標

調整済み要介護認定率 (R2年)



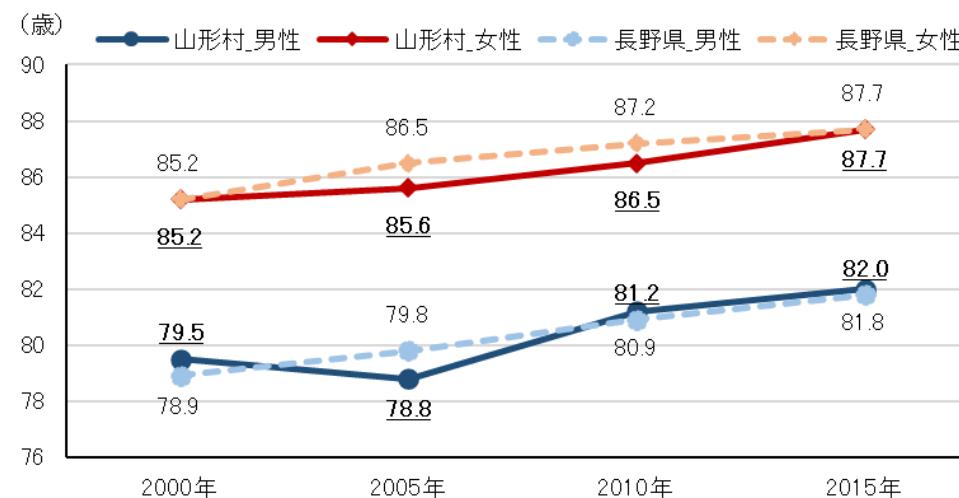
一人当たり保険給付月額額の推移 (R1-R3)



要介護認定率は全国・県より低い水準。一人あたり保険給付額も全国・県は上昇傾向なのに対し、村は減少している。

出典：厚生労働省所「見える化システム」調整済み認定率・・・認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率。

平均寿命



平均寿命は年々伸びている。県平均と同水準。

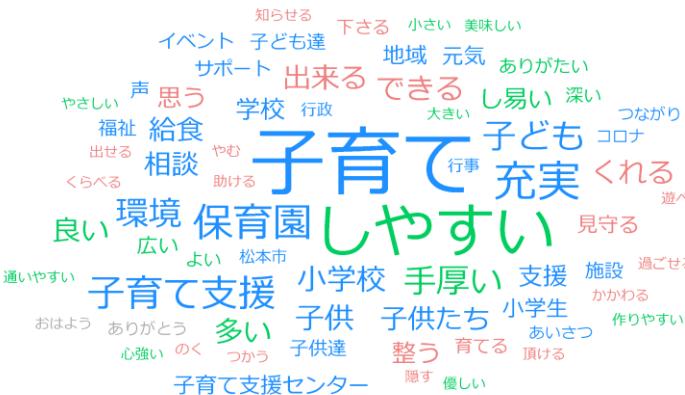
出典：厚生労働省「市町村別生命表」

2. 子育て・教育分野

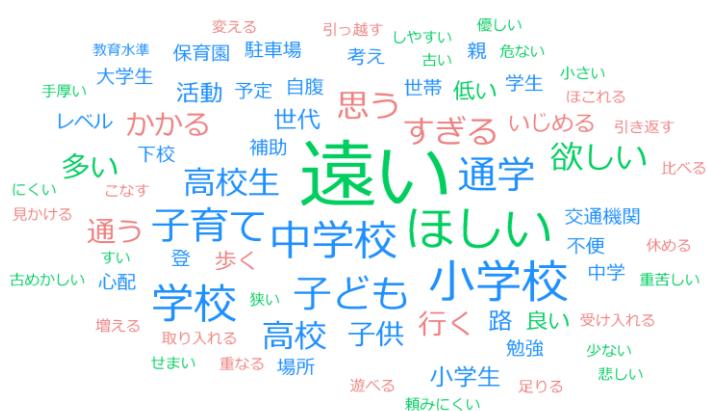
個別分野	村民アンケートによる分野ごとの評価				地域資源・施策アイデア	村長公約	担当課による展望		
	施策	満足度	重要度	村の良いところ			村の悪いところ・要望	課題	将来展望／予定事業
子育て	子育て支援体制の充実	41.7% (4位)	77.8% (2位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政サービス、子育て施設（保育園、センター）が充実 ○ 子育ての相談がしやすい ○ 保育園から小中学生までの一貫したサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 未就学（保育園入園前）の子供に対する支援が足りない ▲ 病児保育を充実してほしい ▲ 未満児枠の拡大、一時預かりの充実、保育士の増員 ▲ 妊婦の歯科検診、子供の予防接種や医療費の補助がない ▲ 保育の質を高めて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども用品のリユース会 • 無料の習いごと、学習塾の充実 • 児童館の拡大・増設 	子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> • サービス向上のためのワンストップサービスを推進するための庁内調整や連携が必ずしも万全とは言えない現状 • 妊娠から18歳まで切れ目ない支援を目指して業務を行っているが、様々なケースに対応するための職員のスキルアップや体制整備が課題 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後、行財政改革も計画されている中で、利便性向上のための検討を行いたい • 保育園等のICT化の検討 • 病児保育等の新たな子育て支援サービスの導入
	子育てしやすい地域づくりの推進	42.1% (3位)	74.9% (6位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもがたくさんいる、元気が声が聞こえる、挨拶してくれる ○ 地域ぐるみでの子育て、地域の人たちの見守り ○ 子どもたちの体験機会が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 子どもの遊び場が増えて欲しい ▲ 転校生に対して閉鎖的なところがある 			<ul style="list-style-type: none"> • 小学生と高齢者等と一緒に学ぶ場づくり（高齢者のボランティアの活用） • 不登校の子どもたちがカラダを動かせる施設 • 「のびのび」をテーマにしたゆったり広い環境で学ぶ、山形村ならではの学校づくり（少人数制） 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校運営協議会の活動の活性化（コミュニティスクールの充実） • 学校施設設備の老朽化
教育	学校教育の充実	33.3% (9位)	76.3% (5位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元食材を使った給食、学校給食を通じた熱心な食育 ○ 学校の環境が良い ○ 各種教室や塾が充実 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 中学校が遠い、高校への通学が不便 ▲ 公共の勉強場所がない ▲ お金のかかる高校生以降の支援を充実してほしい ▲ 通学路の整備、安全確保 				

テキストマイニング

<良いところ>



<悪いところ>



💡 たたとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

【子育て分野】
 ◆ サービス、施設、地域の見守りなど子育てしやすさが高く評価されている。少子高齢化が進むなか、**村の魅力としてさらに強化**すべき
 → 子育てしやすさをさらに磨き、全国から子育て世代を呼び込むにはどうすればよいか？

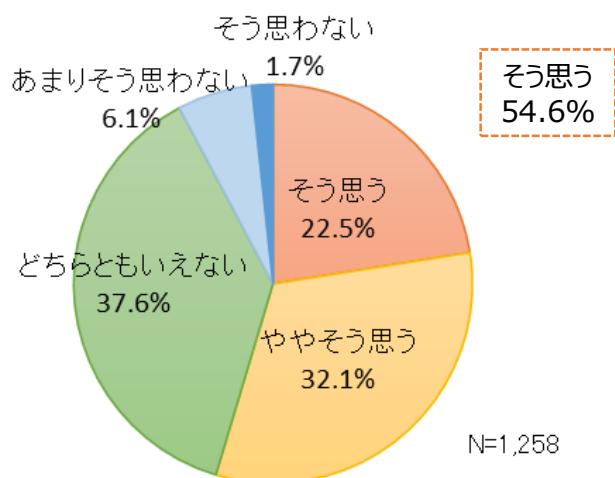
【教育分野】
 ◆ **子どもが減少するなか、食育や地域との連携など山形村らしい特色ある教育をさらに磨いて強みに**すべき
 → 通学の負担問題の解決や教育の魅力づくりに、地域としてどのように関わることができるか？

【今後10年で注力すべき方向性】

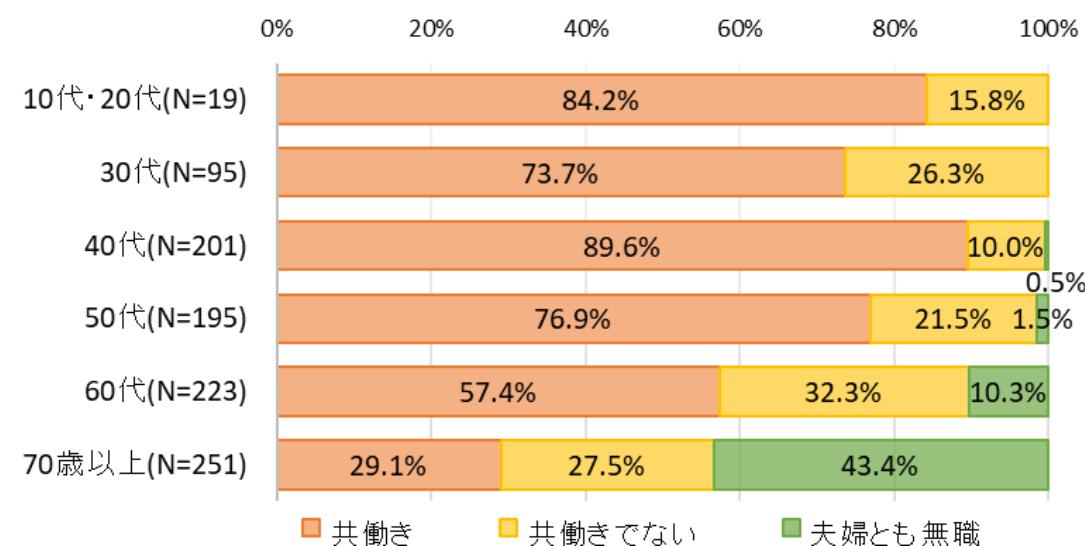
◆ さらに磨くべきこと（強み）	◆ 改善すべきこと（弱み）

■ アンケート結果の分析

総合評価「子育てしやすい村か」



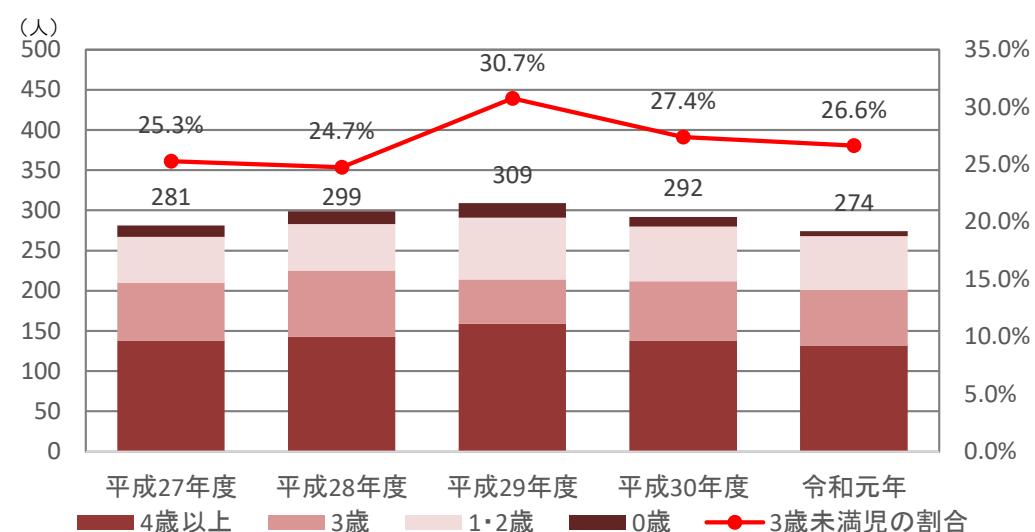
共働きの状況



子育て世代でも共働き世帯が多くを占めている

■ 関連する統計指標

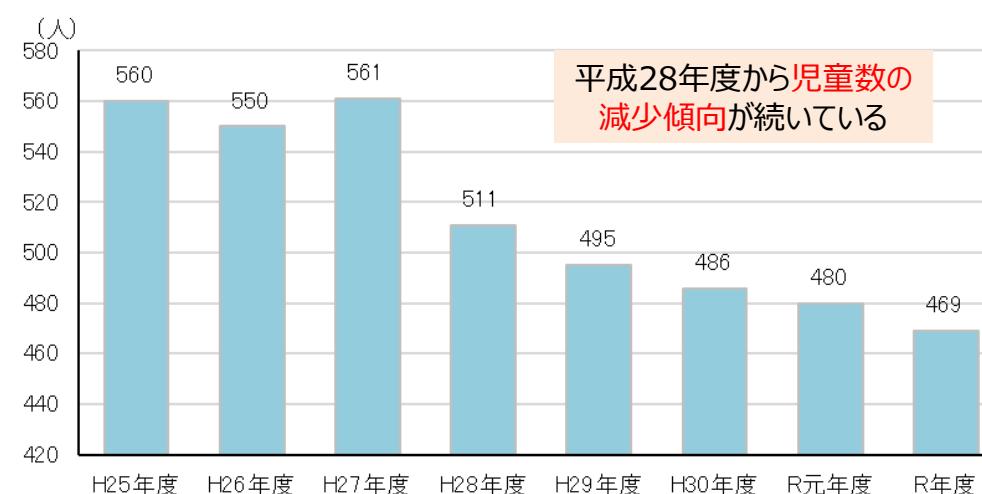
保育園の年齢別児童数の推移



出典：山形村子ども・子育て支援事業計画

園児数は微減傾向。未満児割合は増えていない

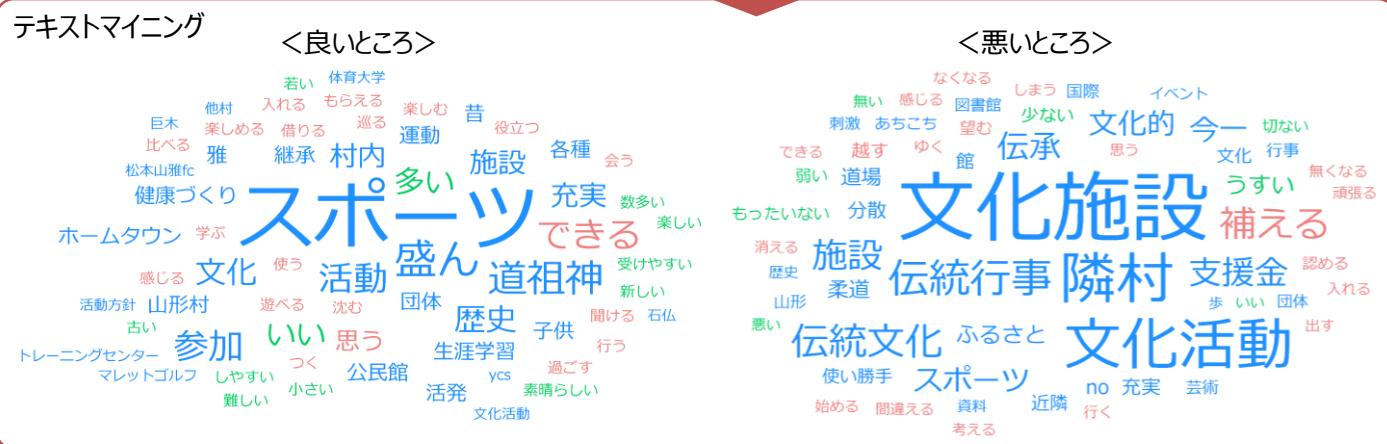
小学校児童数の推移



出典：文部科学省「学校基本調査」

3. 生涯学習・文化芸術・スポーツ分野

個別分野	村民アンケートによる分野ごとの評価						村長公約	担当課による展望	
	施策	満足度	重要度	村の良いところ	村の悪いところ・要望	地域資源・施策アイデア		課題	将来展望／予定事業
生涯学習	生涯学習環境の充実	30.4% (12位)	54.8% (33位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館活動が活発に行われている ○ 熟年体育大学がある ○ どの年代も参加できる講座を定期開催 ○ 生涯学習カレンダーがよい 	▲ 広い図書館が欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村の情報発信や相談に図書館の活用 	(村民力を活かした協働の村づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題の多様化、高度化、学びの成果を地域活動に生かす学習環境づくり ・ 生涯学習施設の老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次生涯学習基本構想、基本計画の推進 ・ 複合施設の建設
スポーツ	スポーツ環境の充実	32.4% (10位)	48.3% (38位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもからお年寄りまでスポーツを楽しんでいる ○ スポーツ施設が充実している ○ 松本山雅のホームタウン 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 柔道が盛んなのに道場がない ▲ 施設が分散していて使い勝手が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキングロードの設置 ・ アルウィン観戦者を対象にイベントや農業体験を実施、宿泊出来るゲストハウスをつくる ・ 山雅と連携した村のPR ・ スポーツ団体に支援金を出す 		<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ施設の整備充実、利用予約の効率的な予約方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設予約の方法の改善点などを検討 ・ スポーツ施設整備の充実
文化芸術	文化芸術環境の充実	19.8% (26位)	41.9% (40位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化交流が盛んである 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 文化施設が少ない ▲ 文化的刺激が少ない ▲ すばらしい農村文化があまり知られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清水寺古道の整備と朝日村との協働による歴史文化の環境づくり ・ ふるさと伝承館にあった文化財に触れる場をつくる 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化団体の自主的活動の促進と文化芸術にふれる機会の充実 ・ 文化財の保存・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で失われたコミュニティの再構築(グループ活動など)と文化芸術の鑑賞・発表機会の充実 ・ 複合施設建設により文化財の保存活用施設を整備し、展示や講演会等の活用を図っていく
	文化遺産の保存・活用	22.2% (23位)	45.4% (39位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石仏、道祖神、清水寺、ケヤキの巨木など歴史的な文化財がある ○ 古き良き伝統行事が残っている ○ 文化的に貴重な資料が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ ふるさと伝承館がなくなり資料公開する機会がなくなった ▲ 伝統文化行事が失われていっている 				



💡 たたとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

- ◆ スポーツは盛んで環境に対する満足度も高いが、**文化的な活動・刺激が弱い**ことが課題。
 - ◆ **若い世代の参加が弱い**。
 - ◆ **各種施設の老朽化が進んでおり、統廃合や新たな活用の検討**が必要な時期にきている。
- 村民が生涯学習や文化芸術活動により親しみ、充実した生活を送るために必要なことは？

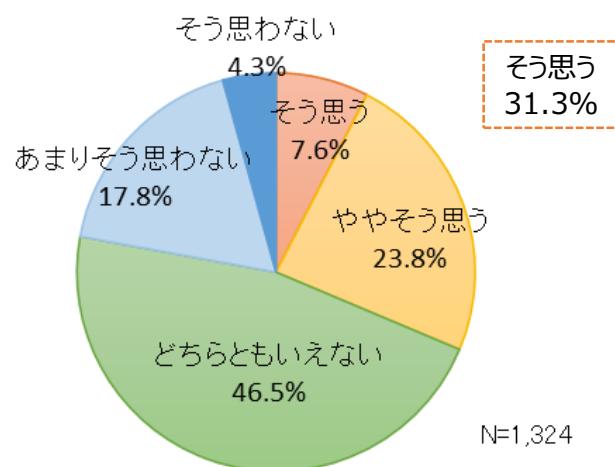
既存施設を利活用するアイデアは？

【今後10年で注力すべき方向性】

<p>◆ さらに磨くべきこと（強み）</p>	<p>◆ 改善すべきこと（弱み）</p>
------------------------	----------------------

■ アンケート結果の分析

総合評価 「学びや文化・スポーツなどの環境が充実している」



村民が意識的に取り組んでいること

	N	スポーツや文化・芸術など趣味や生涯学習活動に取り組んでいる
全体	1,349	28.2%
10代・20代	97	29.9%
30代	141	21.3%
40代	254	24.4%
50代	255	25.5%
60代	279	28.3%
70歳以上	321	35.5%

中年層の取り組みがやや弱い

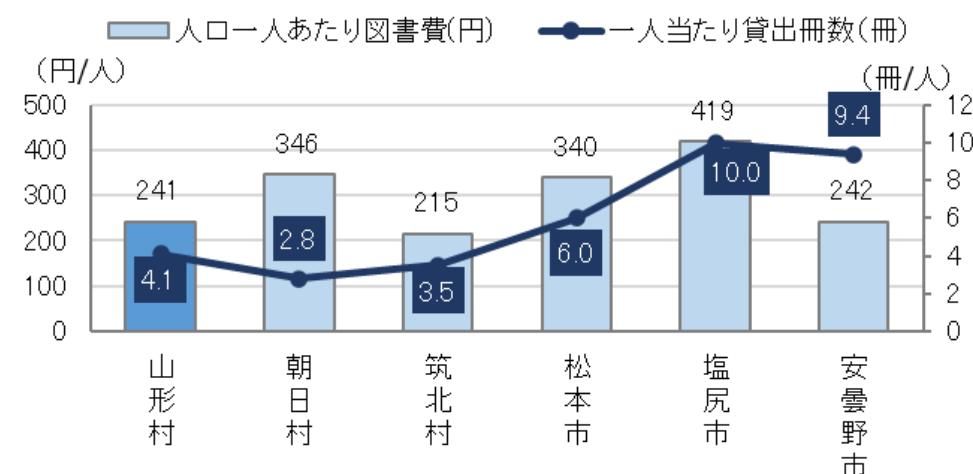
■ 関連する統計指標

社会教育・文化・スポーツ施設の概況

大分類	中分類	延床面積(m ²)	主な施設	課題と管理・整備方針
社会教育系施設	博物館等	4,380.93	ふるさと伝承館、農業者トレーニングセンター(研修棟)、ミラ・フード館	・ふるさと伝承館は老朽化が著しく、他の施設との統合・建て替え等運営方式を含め施設のあり方を検討 ・他の施設は継続的な利用を見込み、点検・主膳を計画的に行い、施設の長寿命化を図る
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	5,082.23	農業者トレーニングセンター(体育館等)、ふれあいドーム、B&G信濃山形海洋センター	・今後の継続利用を見込み、継続的に点検・修繕。施設の長寿命化、コストの削減を図る ・利用実績に応じて運営方式を含め施設のあり方を検討
	レクリエーション施設・観光施設	5,186.88	清水高原 スカイランドきよみず(宿泊施設、従業員棟、屋内運動場等)	
文化系施設	文化施設	194.81	清水高原 文化交流施設「あららぎの庄」	・地域の交流・親睦を深める場として、今後も継続利用が考えられるため、継続的に点検・修繕

出典：山形村公共施設等総合管理計画（平成29年3月）

図書館の概況（令和2年度）



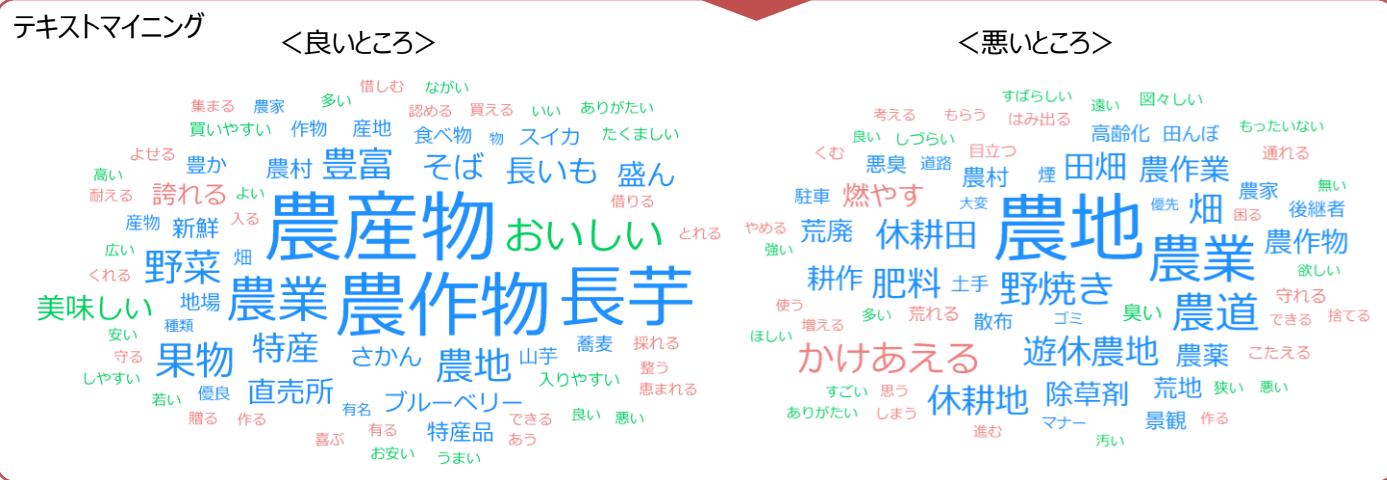
出典：長野県公共図書館概況（令和2年度）

老朽化を背景に建て替え・統合等、あり方の検討が必要な施設が出てきている

一人当たりの貸出冊数は4.1冊、朝日村や筑北村より多い

4. 農林業分野

個別分野	村民アンケートによる分野ごとの評価						村長公約	担当課による展望	
	施策	満足度	重要度	村の良いところ	村の悪いところ・要望	地域資源・施策アイデア		課題	将来展望／予定事業
農業	農業の推進	36.0% (11位)	72.5% (12位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な農作物が採れる ○ 新鮮で安くおいしい農産物が豊富 ○ 直売所がある ○ 蕎麦、長芋、アスパラ、ブルーベリー、といった全国に誇れる農産物がある ○ 耕作しやすい農地が豊富 ○ 農地の基盤が整備され、どんな作物も耕作できる ○ 若く元気な農家が多い ○ 農業者と非農業者がバランスよく混住していて、価値観が多様であることを認め合おうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 荒廃地、休耕地が増え、有効活用できていない ▲ 農家の高齢化、後継者の減少 ▲ 農作物の盗難が多い ▲ 消毒、農薬散布が気になる ▲ 農作業マナーの悪さ（道路が汚い、景観が悪い、廃材を燃やす等） ▲ 野焼きや堆肥の臭い害、砂嵐 ▲ 農道の乗用車のスピード違反 ▲ 農道の私物化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地の有効活用 ・ 道の駅の誘致 ・ ふるさと納税返礼品の活用 ・ 村有林のキノコ解禁 ・ 特産品をふんだんに使った食堂 ・ クラインガルテン ・ 家庭菜園したい人への農地貸出 ・ 農業における女性活躍の推進 ・ 定年就農のための農業塾 ・ 都市部との交流イベントの開催 ・ 長芋掘りなど農業体験の実施 ・ 長芋の振興・PR強化（長芋祭り、専門食堂、オーナー制度など） ・ 蕎麦ガレットの開発 ・ 地元野菜活用のレシピ開発と発信 ・ マルシェ、朝市の開催、アイシティとの連携 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">持続可能な農業・商工業の育成 春の砂嵐防止策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休荒廃農地が減少しない ・ 農業後継者、担い手の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荒廃農地管理隊を組織して管理する ・ 荒廃地の新たな活用方法を探る ・ 稼ぐ農業、ブランド化で付加価値をつける
林業	林業の推進	18.1% (34位)	60.8% (27位)		<ul style="list-style-type: none"> ▲ 乱開発、木の伐採により大雨時に地滑りの危険性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐材をバイオマス発電やチップとして活用 ・ 森林資源の活用（木工品の開発、山菜・きのこ等を利用した商品開発） ・ きのこのコマ打ち体験 ・ 森の中のアスレチックの設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐期を迎えた木材の販売活路が、伐採計画の作成、搬出方法および販売先の検討。新たな森林整備続けるのか、どこまでやるべきか？ ・ 松くいに対して保全する地域、しない地域の区切りをつける。 	



💡 たとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

【農業分野】

- ◆ 長芋をはじめとする農業が盛んな地域として村民のアイデンティティになっているが、一方で非農家住民の間で農業に関わる不満も溜まっている・・・
- ◆ 販売農家が減り、耕作されない農地が増えている。

どのように非農家住民の理解を得ながら、うまく共存していくか？

新規就農者を確保するために、稼げる農業、産地ブランドを強化するには？

【林業分野】

- ◆ 松くいが進むなど森林整備・活用が進んでいない。

豊かな森林資源を村の魅力づくりに活用するには？

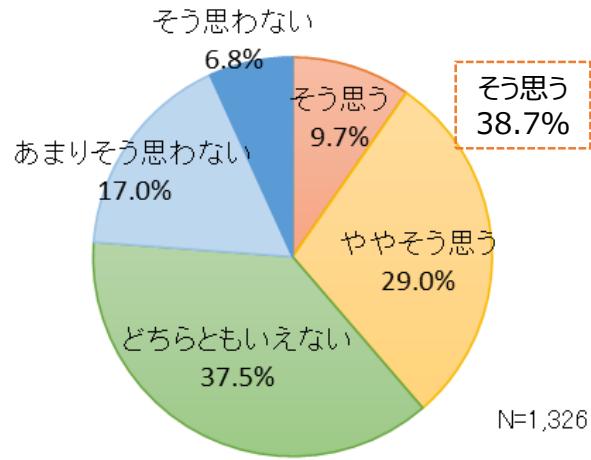
【今後10年で注力すべき方向性】

◆ さらに磨くべきこと（強み）	◆ 改善すべきこと（弱み）

■ アンケート結果の分析

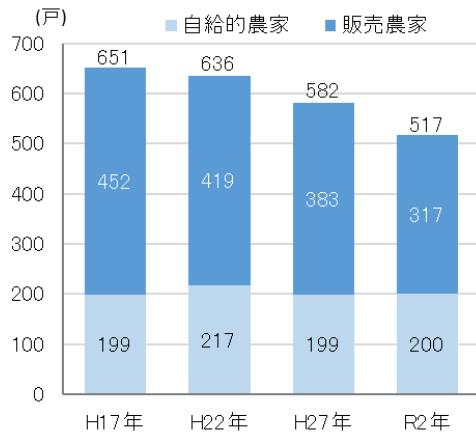
総合評価

「農業や観光など地域資源を生かした産業の活力がある」



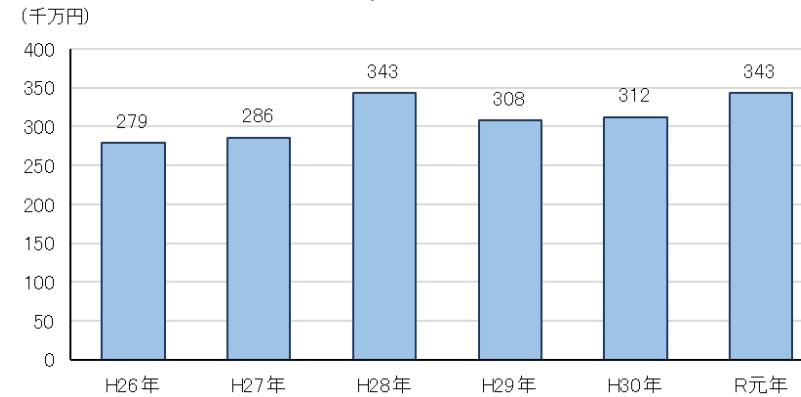
■ 関連する統計指標

総農家数の推移

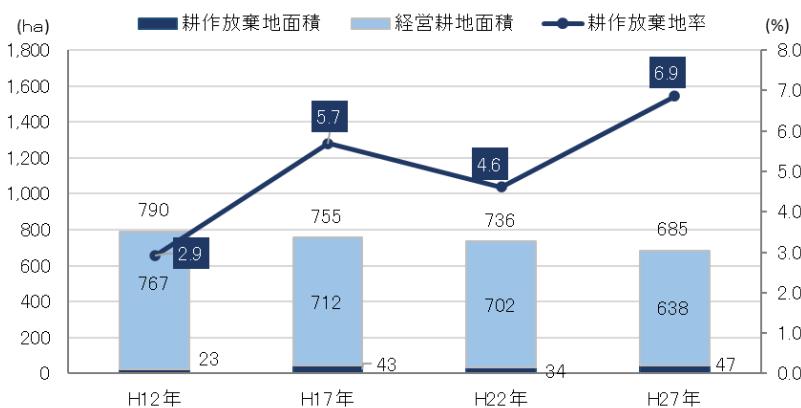


販売農家数と経営耕地面積が減少傾向

農業産出額の推移

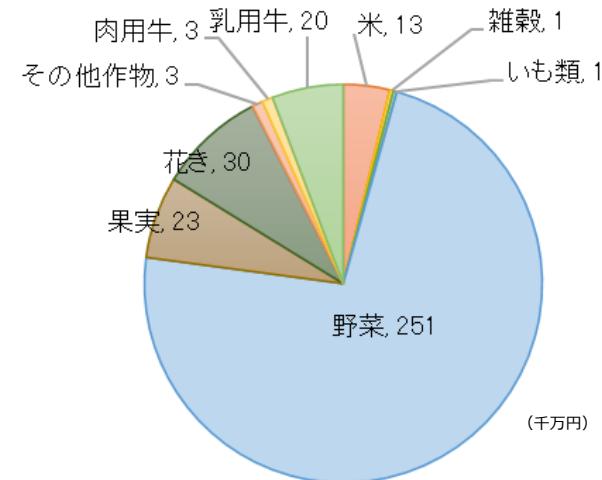


経営耕地と耕作放棄地の状況



出典：農林水産省「農林業センサス」

農業産出額の内訳 (R元年)

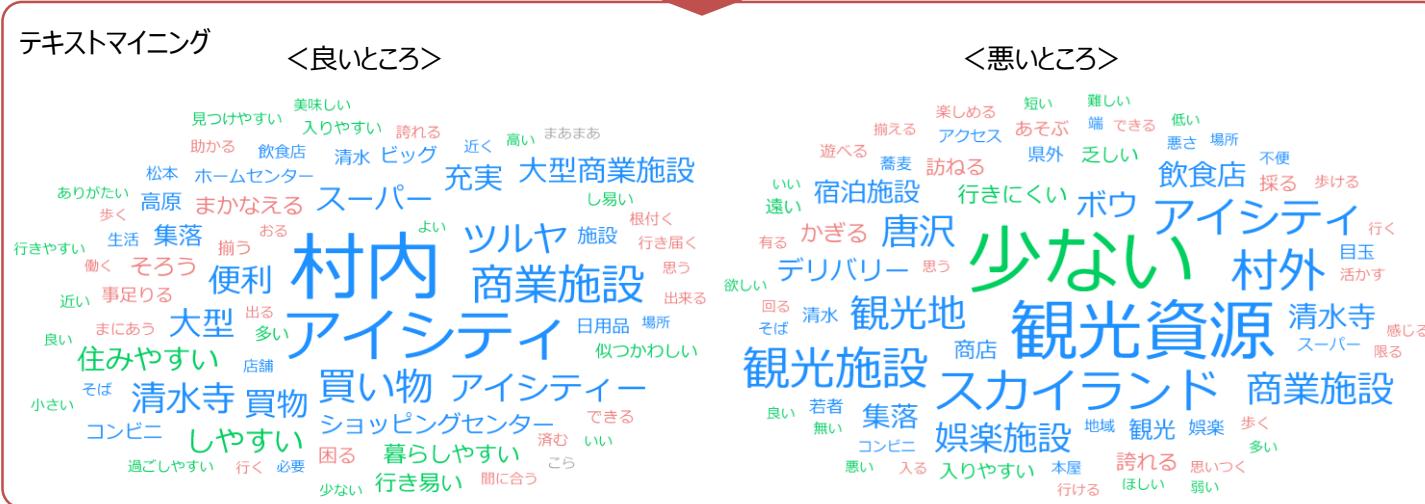


農業産出額は微増傾向のため、効率的な生産が進みつつあるとみられる。作物は野菜が多くを占めている（長芋は野菜に分類）

出典：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

5. 観光・商工業・雇用分野

個別分野	村民アンケートによる分野ごとの評価					地域資源・施策アイデア	村長公約	担当課による展望	
	施策	満足度	重要度	村の良いところ	村の悪いところ・要望			課題	将来展望／予定事業
観光	観光の推進	19.1% (36位)	59.7% (31位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 清水高原と清水寺 ○ 唐沢そば集落 ○ 道祖神など歩いて楽しい 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 知名度が弱い ▲ 観光施設がない ▲ 目玉になる観光資源がない ▲ 清水寺へのアクセスが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> 清水寺、そば集落のPR強化 清水高原の活用、活性化（星空観察、グランピング、スポーツ公園施設、アートフェス、マラソン大会） スカイランドきよみずを宿泊施設として再利用 朝日村と共同で清水高原⇄鉢盛山のトレッキングコースを整備・開発 フラットな地形を生かしてサイクリングロードと施設をつくり自転車ツーリズムを推進、ロゲイニングの開催 八十八夜祭の復活 映画のロケ誘致 	持続可能な農業・商工業の育成 朝日村と連携した観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営が委託から直営に変わるため、業務の見直しが課題 新たな観光資源の開発に向けた可能性や課題の審議 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣観光協会との連携 観光協会の既存事業の整理 新規事業の検討
商工業	商工業の推進	23.5% (27位)	60.5% (29位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大型商業施設（アイシティ）があり買い物に困らない ○ 映画館がある ○ おいしいそば屋がある 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 若者が遊べる場所がない ▲ 企業誘致が県外の大手企業ばかりで、利益が地域内で回らない 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家や空きオフィスを活用してIT起業の誘致 デジタル立村 アイシティを活用した農産物、特産物PR アイシティテナントの魅力アップ 物流拠点の誘致 		<ul style="list-style-type: none"> 商工会加入率の低迷 村単の制度資金が使いにくいとの指摘 	<ul style="list-style-type: none"> 起業しやすい環境整備 魅力ある商工会組織づくり ニーズに合わせた資金制度の検討
雇用	雇用対策の推進	11.7% (38位)	63.1% (20位)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近くの周辺市（松本、塩尻）に働く場所が豊富にある ○ 工業団地やアイシティが雇用を生み出している 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 若者の働く場がない ▲ 就労場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 起業家、個人事業主の支援 		<ul style="list-style-type: none"> 帰省しても働く先がない 互助会組織への加入率低迷 	<ul style="list-style-type: none"> 新規企業の誘致 ハローワークとの連携強化



💡 たとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

【観光分野】
◆ 知名度が弱く、売りとなる観光資源を磨き上げ、アピールする必要がある。

主要な観光資源である長芋、そば集落、清水高原を生かして観光客を呼び込むアイデアは？

【商工業・雇用分野】
◆ 若者の村の評価や愛着は高いものの、村内や近隣で働けないことで村外に出ざるを得ない若者が少なくない。

村を愛する若者たちが村内にとどまり、村内で活躍し、生活が成り立つためには必要なことは？

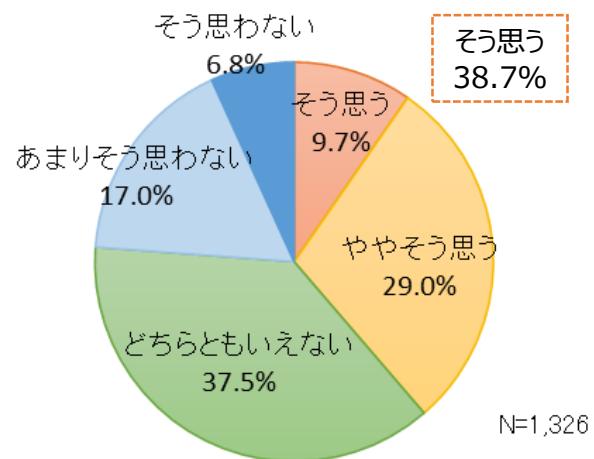
【今後10年で注力すべき方向性】

◆ さらに磨くべきこと（強み）	◆ 改善すべきこと（弱み）

■ アンケート結果の分析

総合評価

「農業や観光など地域資源を生かした産業の活力がある」



村民が意識的に取り組んでいること

	N	なるべく村内で飲食や買い物をするようにしている
全体	1,349	49.3%
10代・20代	97	38.1%
30代	141	31.9%
40代	254	40.9%
50代	255	37.6%
60代	279	59.5%
70歳以上	321	67.0%

中年層の取り組みがやや弱い

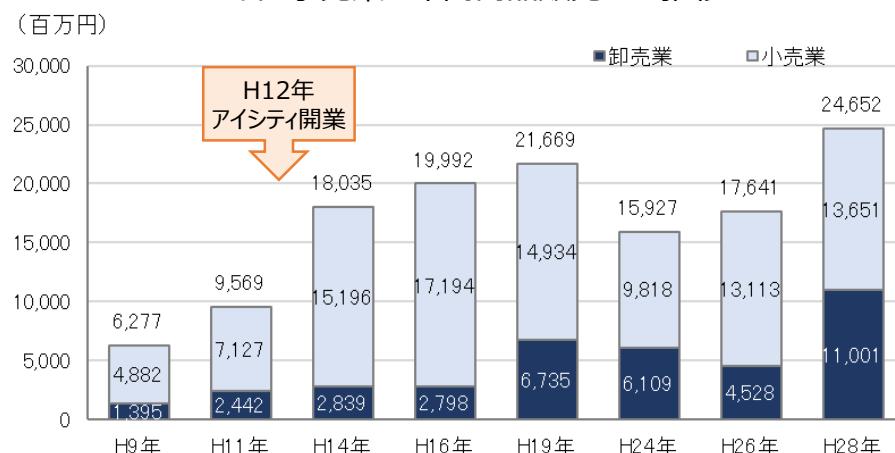
■ 関連する統計指標

製造品出荷額等の推移



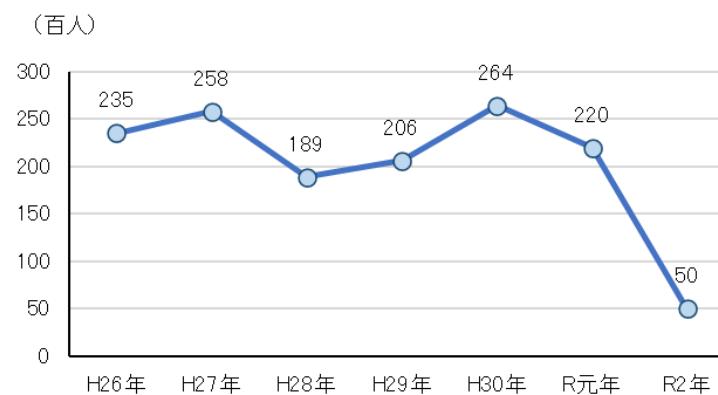
年間の出荷額は60億円超で近年推移している

卸・小売業の年間商品販売額の推移



アイシティ開業後は小売業の販売額が拡大。卸売業もH28年に100億円規模となっている

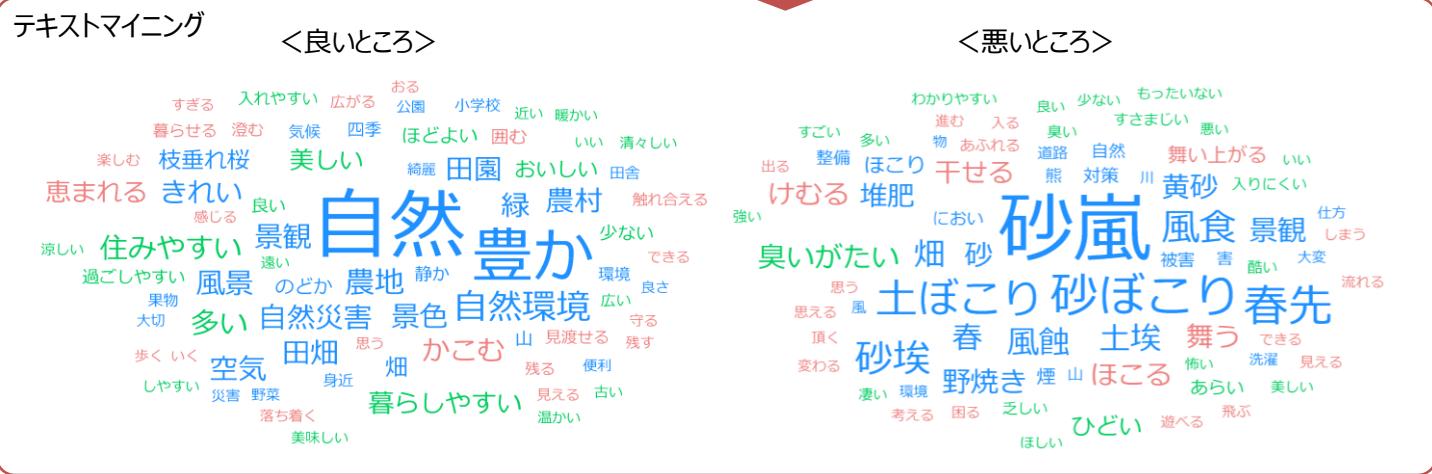
「清水高原」の延べ利用者数の推移



清水高原の観光客数は年間2万人前後で推移。R2年は新型コロナの影響で落ち込んだ

6. 自然環境分野

個別分野	村民アンケートによる分野ごとの評価						村長公約	担当課による展望	
	施策	満足度	重要度	村の良いところ	村の悪いところ	地域資源・施策アイデア		課題	将来展望／予定事業
自然環境	公園・緑地の充実	29.3% (28位)	62.1% (24位)	○ 公園や施設が充実している ○ なるう原公園、鷹の窪公園	▲ 豊かな自然を生かしていない ▲ 農地ばかりで憩いの公園がない ▲ 子どもが遊べる公園が少ない	・尾根に公園やドッグランをつくる ・遊歩道の整備 ・自然観察のできる公園 ・花をコンセプトにした公園 ・なるう原公園のアスレチック活用	山林資源や自然を活かした里山再生 清水高原の再活用	・村で管理している、なるう原公園、鷹の窪公園などは費用面や職員体制の問題から、草刈り等の維持管理が十分に出来ていない	・現在ある公園を適切に維持管理し住民が満足できる場所にしていく
	自然環境や景観の保全	39.4% (7位)	68.4% (18位)	○ 豊かな自然、生物多様性 ○ 広々美しい農村景観、里山 ○ 空気がキレイ、おいしい ○ 星空の美しさ ○ 季節感がある ○ 災害が少ない ○ 雨、雪の被害が少ない	▲ 川が護岸工事され生物がいない ▲ 草取りなど美化活動に参加する人が少なくなった ▲ 砂嵐、土埃がひどい、無策 ▲ 野性動物の被害 ▲ 太陽光パネルによる景観不良と環境破壊	・キャンプ場尾開発、グランピングの提供 ・ビオトープをつくる ・昆虫採集・山菜採りツアー ・豊かな自然を活用したトレッキングやサイクリングイベントの実施		・公園遊具は老朽化が進んでいるが、日常的な点検が十分出来ていない ・公園・緑地の充実は、地域住民、子どものために重要ではあるが、維持管理をどの程度、どのように行っていくかが課題	
	循環型社会の推進	21.7% (25位)	63.8% (22位)	○ ごみの収集日が多い ○ ゴミステーションが豊富	▲ ゴミ袋が高いため家庭でゴミを燃やしている	・砂嵐の時期の風のエネルギー活用 ・小規模の風力発電 ・太陽光以外の安定的なエネルギーの確保		・村全体として環境保全に対する村民の意識がまだまだ低く、ゴミの減量、資源化、河川や里山の美化など、取り組みが必ず結果の出ることを実行に移すことができていない ・ゼロカーボン社会の実現に向け、行政が積極的に再生可能エネルギーの導入を進める必要がある	・村民が日常生活において個々に取り組むべきこと、みんなの協力がなければ達成できないことなど、個人や地域が果たす役割を明確にして環境保全を習慣化していくことを目指す ・公共施設への再生可能エネルギー導入に向けた具体的なプランの策定を進める



💡 たとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

- 【自然環境分野】
 - 美しい自然環境が村の魅力として評価されているが、**ゴミは増え、リサイクルも進んでいない現状がある。若者を中心に環境保全意識や取組が弱い。**
 - 国の脱炭素化の動きに合わせて村でも**再生可能エネルギーの導入（太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマス等）を進める必要がある。**

村の豊かな自然環境を守るために、一人ひとり、行政と村民が協力して取り組むべきことは？

村の環境や特徴を生かした効果的な再生可能エネルギー化の方法は？

【今後10年で注力すべき方向性】

◆ さらに磨くべきこと（強み）	◆ 改善すべきこと（弱み）

■ アンケート結果の分析

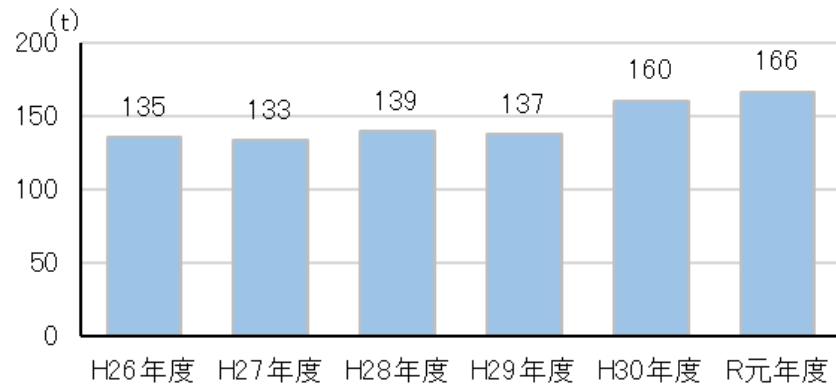
村民が意識的に取り組んでいること

	N	太陽光や薪、ペレットなど再生可能エネルギーを活用している	ごみの減量やリサイクル、リユースを心がけている	自宅周囲の清掃や庭づくりなど、清潔で美しい環境づくりを心がけている
全体	1,349	20.2%	61.3%	58.3%
10代・20代	97	15.5%	30.9%	28.9%
30代	141	18.4%	40.4%	33.3%
40代	254	27.6%	55.1%	44.1%
50代	255	19.2%	59.6%	56.1%
60代	279	22.6%	70.6%	71.0%
70歳以上	321	15.3%	77.6%	80.1%

若い層の環境保全への取り組みが弱い

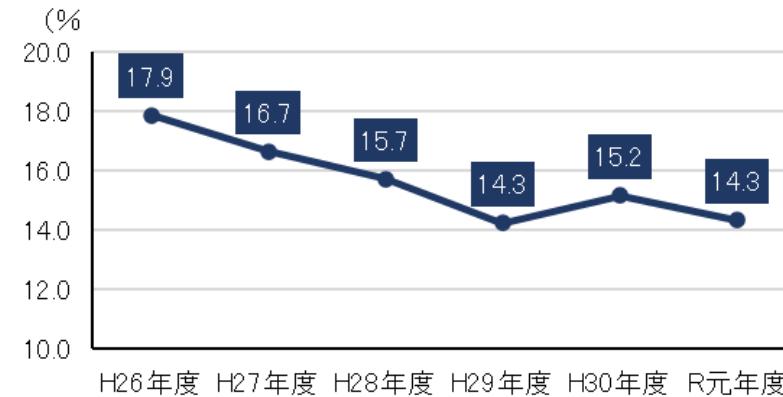
■ 関連する統計指標

ゴミの最終処分量の推移



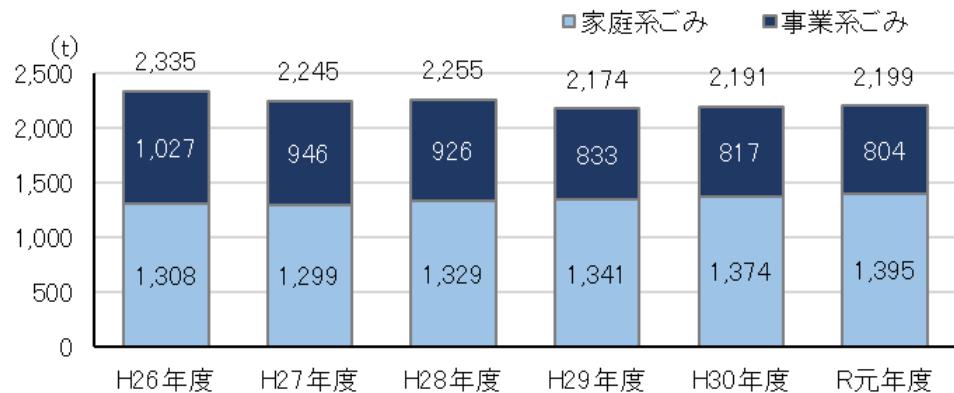
ゴミの最終処分量は増加している

リサイクル率の推移



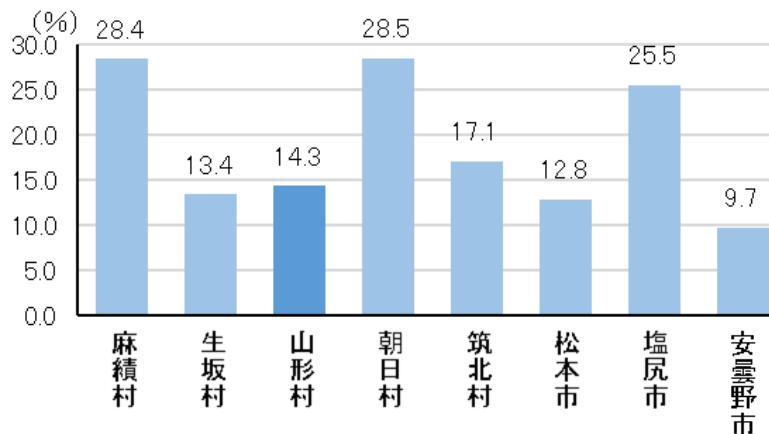
リサイクル率は低迷している

可燃ごみの推移



事業系可燃ゴミは減少しているが、家庭ゴミは増加傾向にある

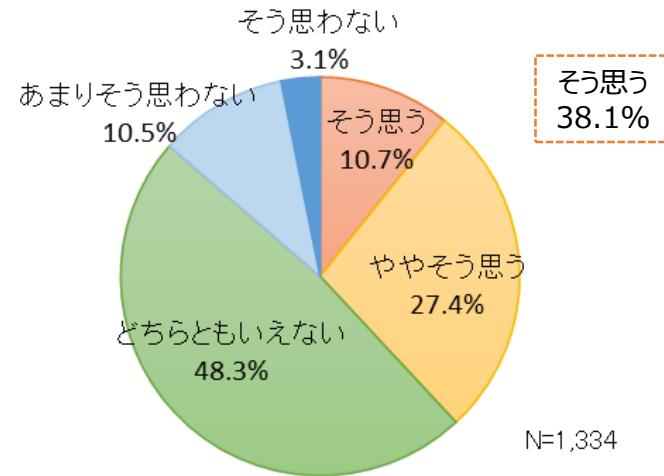
リサイクル率の松本地域比較 (R元年度)



出典：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

■ アンケート結果の分析

総合評価 「防災や防犯などの備えがあり、安全に暮らせる村か」

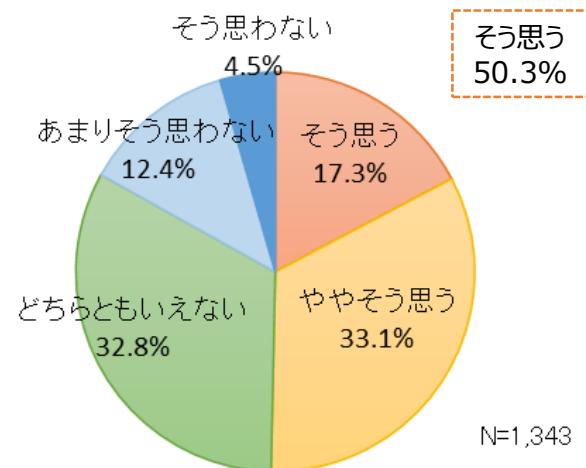


村民が意識的に取り組んでいること

	N	防災グッズの準備や災害情報の収集など自分でできる防災に取り組んでいる	安全運転や交通ルールの遵守を心がけている
全体	1,349	30.8%	84.9%
10代・20代	97	19.6%	67.0%
30代	141	24.1%	76.6%
40代	254	29.9%	85.8%
50代	255	29.4%	84.3%
60代	279	31.9%	90.3%
70歳以上	321	37.7%	88.8%

全体的に防災意識が弱い（特に若年層）

「生活の基盤が整い、快適に不便なく暮らせるか」



8. 人権・自治・協働分野

個別分野	■ 村民アンケートによる分野ごとの評価					村長公約	担当課による展望	
	施策	満足度	重要度	村の良いところ	村の悪いところ・要望		地域資源・施策アイデア	課題
人権	人権尊重の村づくりの推進	22.4% (20位)	66.8% (17位)		▲ プライバシーがない ▲ 障害者への偏見がある	・ 人種や性の多様性、外国人の良さを広報する	女性の行政や地域社会への参画推進 村民力を生かした協働の村づくり	・ 人権課題の多様化 (LGBTQ やインターネットによる人権侵害など) ・ 共生社会に向けた幅広い人権課題に関する啓発の強化
	男女共同参画社会の推進	24.0% (18位)	56.6% (30位)		▲ 常会の女性の仕事が偏っている ▲ 地域役員の仕事に女性を登用しない、女性も参加しようとしていない ▲ 女性参画の講演会などに女性が参加していない	・ 農家の独身者と外国人技能者の交流促進 ・ 外国人に対する日本語講座		・ 地域における女性登用がなかなか進まない。 ・ 女性が活躍できる新しい時代の組織のあり方を検討し、枠組みを創造していくことが重要
	多文化共生の推進	10.8% (37位)	47.2% (37位)			・ 行政主導でなく活動したいグループの立ち上げや活動の後押しなどの手伝いを行政に期待 ・ 世代間交流の場を作る		・ 近年、外国人の技能研修性の増加が顕著
自治・協働	協働の村づくりの推進	20.8% (17位)	49.5% (35位)	○ 新しく来た人と古くから住む人が仲良く暮らしている ○ 常会のまとまりがよい ○ 地域行事が盛ん (じゃんずら花火など) ○ 住人同士のつながり、交流が盛ん	▲ 移住者が常会に入らない ▲ 常会の高齢化 ▲ 閉鎖的な体制、村八分 ▲ 行事、常会の仕事が多すぎる ▲ 地域活動に経費がかかりすぎる ▲ 常会費が高すぎる	・ 公式TwitterなどSNSで情報発信	・ 連絡班未加入者や脱退者の増加により自治組織の形骸化が進んでいる ・ コミュニティの在り方検討委員会の提言内容の具体化に向けて協議を進める ・ 自治組織の活性化を図るため助成制度の拡充を図る	
	広報・広聴活動の充実	28.7% (16位)	54.9% (32位)		▲ 防災無線が聞き取りにくい ▲ 有線放送を修復して欲しい		・ 生活の多様化が進み、一律の方法では住民の満足は得られない状況。村づくり懇談会は全課長出席、Zoomの導入など開催方法の見直しに着手 ・ デジタル化の推進も含め、住民が欲しい情報を欲しい形式で得ることができる環境を整備	



💡 たたとえば以下をヒントに考えてみよう！（課題と論点の例）

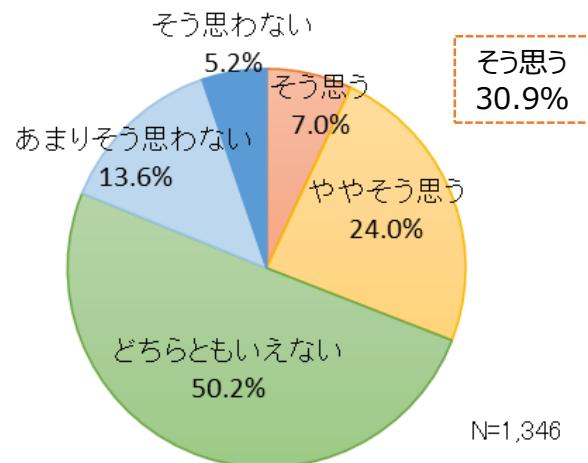
- 【人権分野】
- ◆ 村長公約にもあるように、政治や地域における**女性の活躍促進**が課題。
 - ◆ 外国人住民が増えつつあり、**多文化共生**に取り組む必要が出てきている。
- 一人ひとりの多様性や人権を認め合い、生かし合う共生社会にするために足りないこと、改善すべきことは？
- 【協働分野】
- ◆ **常会の高齢化、活動・費用負担に対する不満が噴出**。地域組織・活動のあり方を根本から見直す必要がある
- 若い世代を巻き込み、協働を引き出すために、地域組織や活動をどのように見直していけばよいか？

【今後10年で注力すべき方向性】

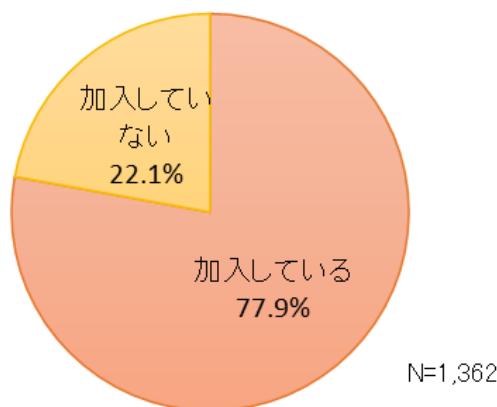
◆ さらに磨くべきこと（強み）	◆ 改善すべきこと（弱み）

■ アンケート結果の分析

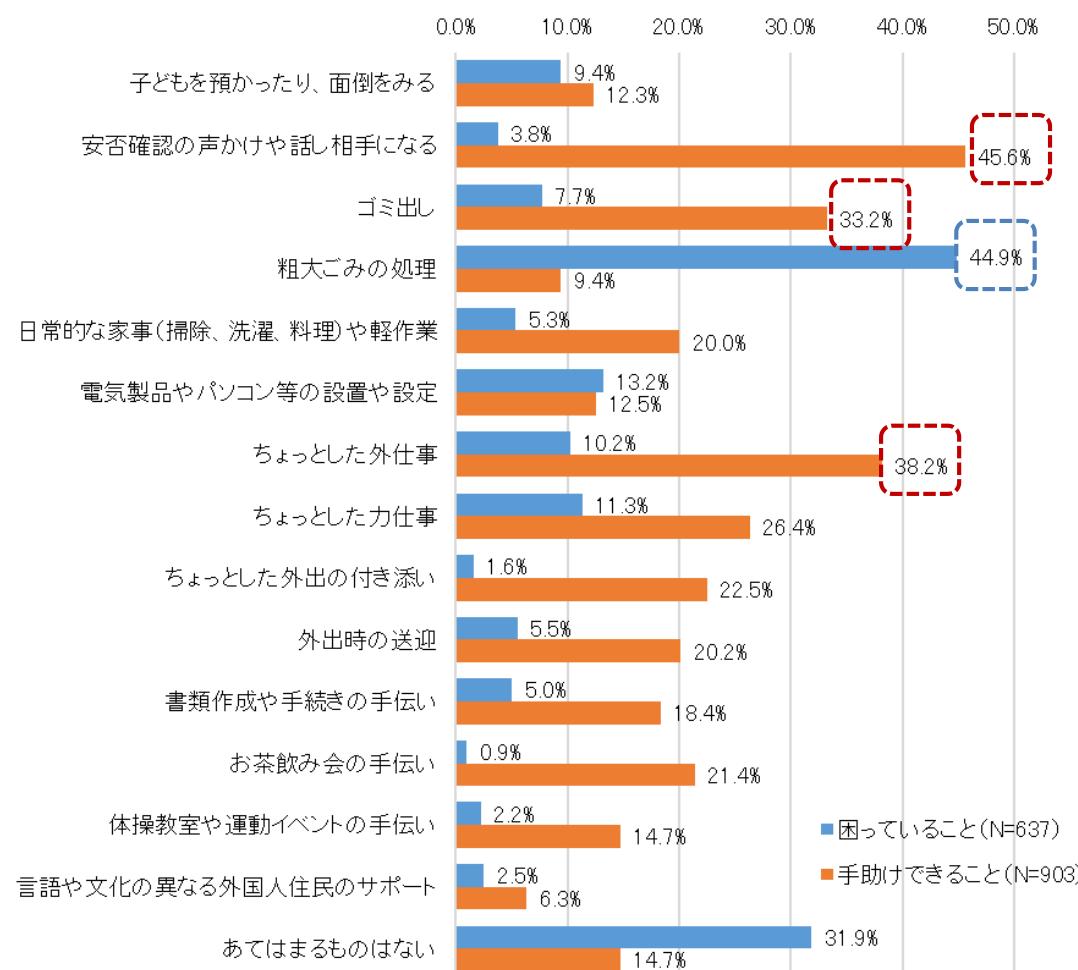
総合評価
「村民が互いの立場を認め合い、助け合える村か」



連絡班への加入有無



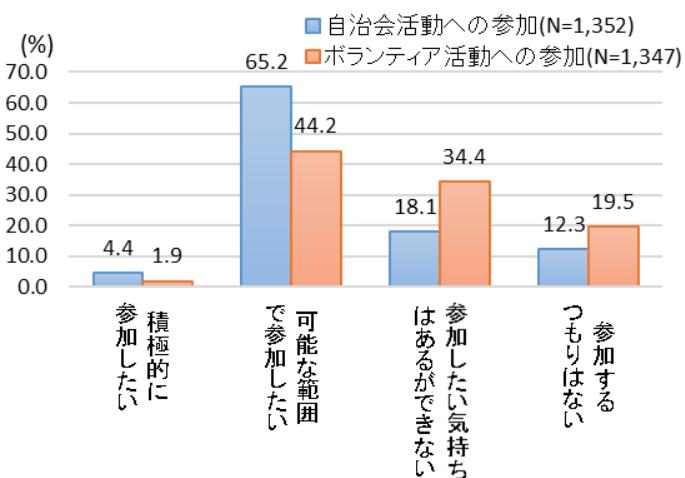
地域の支え合いマッチング状況



村民が意識的に取り組んでいること

	N	地域の防災活動に参加するようにしている	近所と顔の見えるおつきあいができるよう心がけている	子どもやお年寄りなどへの声かけや見守りを心がけている
全体	1,349	43.9%	60.0%	35.7%
10代・20代	97	17.5%	38.1%	20.6%
30代	141	24.8%	42.6%	29.8%
40代	254	38.2%	48.4%	32.7%
50代	255	45.9%	54.9%	27.5%
60代	279	55.2%	70.3%	39.8%
70歳以上	321	53.3%	78.5%	47.7%

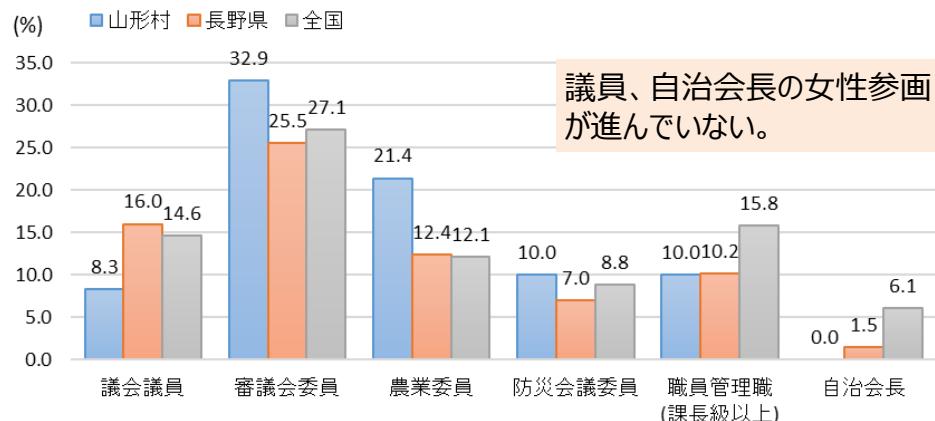
自治会・ボランティア活動についての考え



若い年代ほど地域活動への取組が弱い

■ 関連する統計指標

女性参画の状況 (女性の占める割合)



議員、自治会長の女性参画が進んでいない。

世帯構成

